京城日報

廿六日夕刊

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目

米墨の危機

州兵國境に急派さる

華盛頓來電に依れば米軍騎兵隊はカリザルに於て墨軍の爲無法にも鏖殺されたるものゝ如しこのパーシング少將の報道達せる爲米墨の關係は愈々緊張し來れり陸軍卿ベーカー氏は大統領ウイルソン氏と長時間に亙り協議し大に大統領を覺醒せり州兵は急速に國境に派遣せられつゝあり（紐育電報不良延著）

獨軍ヴ要塞に肉薄す

僅に三哩半の地點迄

巴里來電に依れば獨軍は今やヴエルダンを距る僅に三哩半の地點迄前進せり佛軍は目下三百二十號及び三百二十一號高地の大部分を保持し居れり新聞紙は格別形勢を悲觀し居らず（倫敦電報不良延著）

國會恢復方針決定

國會恢復に就き政府は其の方針を左の如く決定せり（北京特電）
一、內務部の國會事務局を恢復し國會に關する事務を管掌す
二、參衆兩院共に秘書廳を組織し各秘書長一名を置き兩院議長より選任し國會事務局と共に事務進捗を圖る

鹽稅剩餘金交付行惱

北京政府は米國より資金の供給を獲得せる結果四國團の鹽稅剩餘金交付は猶行惱みつゝあり

日支交涉進捗

滿蒙領事館增設の件

滿蒙各地日本領事館增設に關する件は日支兩國政府間の交涉順調に進捗し遠からず解決を告ぐべし（東京電報）

東宮御見學

東宮殿下には七月三日東京御出發日本海沿岸各縣御見學の途に上らせらるゝ事に御治定相成りたり（東京電報）

捏造說の流布

日本軍艦墨國游弋

米國諸新聞紙は日本軍艦が墨國沿海を游弋しつゝありと何等かの政治的意味ある如く捏造說を流布し居れり（東京電報）

獨立選擧區

選擧法改正案に於ては橫須賀外十五市を獨立選擧區として認め居れり（東京電報）

鐵材拂下

枝光製鐵所に於ては鐵材七千噸の拂下げをなす事に決定せり（東京電報）

幣帛御下賜

聖上陛下には故朴齊純子爵家に對し更に幣帛白絹二疋を御下賜あらせられたるを以て森總督附武官は二十六日午前十時半勅使として故子爵邸に赴き右の御下賜品を傳達したり

御禮言上依賴

子爵權重顯氏は朴子爵家を代表し二十五日午前十一時三十分總督府に寺內總督を訪問御下賜品に對する御禮申上方を依賴せり

祝詞傳奏依囑

二十五日は地久の佳節なりしより午前十時李王、李王妃、李太王、各殿下は閔長官を李堈公同妃、李埈公、同妃故李熹公妃各殿下は朴侯爵を總督邸に遣はし、祝詞の傳達方を申出でられたるが朴侯爵はまた同時に朝鮮貴族代表者として前同傳奏方を依囑す

李王職受賀

李王職長官閔子爵は昌德宮に於て二十五日地久節に對する李王職員一同の祝賀を受け別項記載の如く寺內總督を經て宮內省に祝意の傳達方を申出たり

總督晩餐饗應

寺內總督は二十八日午後七時より道慈惠醫院長を官邸に招待晩餐の饗應あり道慈惠醫院長會同關係者も列席す可し

李王家祝詞

二十四日李王、李太王兩殿下並に李堈公、李埈公各殿下は其れ〲使者を總督官邸に派し寺內總督の元帥に列せられたる祝詞を述べしめられたるが李王世子殿下も亦二十五日電報を以て鄭重なる祝詞を寄せられたり

米佛領事祝詞

京城駐在米國總領事ミラー氏並に佛國領事ペラーン氏は二十四日寺內總督を官邸に訪問、總督が元帥府に列し元帥の稱號を戴けるに對し祝意を表せり

慈惠院長會同

道慈惠院長會同第一日は二十六日午前九時より總督府第二會議室に開會寺內總督、山縣政務總監以下關係各部長官、局長、課長、芳賀院長等列席し、宇佐美長官統裁の下に日程に入り午前、午後に亙りて諮問事項の答申あり午後三時散會したり

軍司令官檢閱

駐剳軍司令官井口陸軍中將は安藝中佐、古城副官、長谷川軍醫、谷主計外書記一名を隨へ廿七日朝九時廿二分龍山發平康に到り其れより金化に入り同地守備隊を檢閱し廿九日午後五時廿二分龍山歸著の豫定なり

第十九師團長招宴

立花第十九師團長は廿五日午後七時半より朝鮮ホテルにて開宴寺內總督山縣政務總監、井口軍司令官其他各部局長、古海警務總長、吉原東拓總裁、勝田鮮銀總裁、野田東拓副總裁其他理事諸氏及び入京中の各團隊長等五十餘名の出席者あり午後十時半頃迄歡談を交へて後散會せり

將校乘馬檢査

軍司令部副官千輪大尉、富岡一等獸醫は將校乘馬檢査の爲め廿二日春川に至り廿四日歸來せるが更に廿七日發元山、羅南、會寧の各地諸部隊を檢査し七月五日歸任、更に同九日忠州に至り十一日歸任の豫定なり

木村理事歸任期

支那各地經濟事情視察中なる木村鮮銀理事佐藤高橋兩行員の一行は二十四日夜北方より奉天著佐藤高橋兩氏は二十五日朝發五龍背に南下滯留木村理事は奉天に於て用件を濟し二十五日夜奉天發二十六日朝五龍背到著夕刻三氏は共に安東に出で卽夜同地新義州銀出張所長披露宴に列席二十七日朝安東縣發同日午後七時三十分南大門驛著歸任の豫定なりと

遠藤所長東上

遞信局爲替貯金管理所長遠藤逵氏は今回東京出張を命ぜられ二十七日夜發東上する由なるが其の用向は遞信省爲替貯金局と諸種の打合せをなすにあり尚ほ氏は引續き請暇の筈に付其の歸任は七月末なるべしと

橫井副官出張

駐劄軍副官橫井大尉は參謀本部より派遣の測量師指導及び打合せの爲め廿七日朝龍山發北鮮總城に向ひ來月十一日歸任の豫定なり。

府郡主任書記打合會

京畿道各府郡主任書記事務打合會は二十六日午前九時より宣化堂に於て開會松永道長官其他各事務官主任列席第一日の日程により諮問事項の答申を行へり

朴子爵葬儀

故子爵朴齊純氏の葬儀は二十七日午前八時花洞の自宅出棺同十時龍山停車場前に於て葬送式を執行し富平郡に埋葬さる可し

最近仁川米界

六月に入りて以來も仁川米界は依然沈靜裡にあり這は米價不況の結果によるものにして自然廻著米も少く從來持越し來りたる倉入貯藏高は約六萬石なりしも全然該品は精米目的を有するもの其大部分を占め不況に依る各精米筋は充分の精搗をなす能はず頃日殆んど休止の姿にして倘此の形勢が今後持續さるゝ限り當分は精米も充分ならざるべく從つて輸出も旺盛ならざるは勿論にして奧地の出廻りも多からざるべし斯る現勢なるに不拘今月限りの受渡米來月及び八月の受渡米は殆んど混沌たる狀態にあるが如く目下其準備米として群山釜山大邱方面より檢査濟米を吸收しつゝあり而して已に今日迄に此方面より一萬四五千石は廻著せるものゝ如きも尤も此檢査米中消印の磨滅其他包裝及び內容に就て多少の異動なきやを保し難く槪して受渡の準備米として廻著する外沿岸及び島嶼より米著するものは微々たり畢竟するに之等は米價不況に素因するものにして尚仁川に廻著して廻著及び檢移出米として檢査を受けしもの少からずと雖も已に目下米界に最も恐るべき持越困難なる越費期に際會し居れるも幸に各當業者が充分注意し軟質米の如きは其々處分し現在貯藏に係るものは比較的乾燥の行屆きたるもの而已にして此點に於ける注意は今後に於ける受渡の準備米として左迄の異動は無かるべく豫想せられつゝあるも梅雨季が目睫の間に切迫せる事迚準備米たる此貯藏品が該期を過ぎて檢米の結果合格するや否やは今日斷言する限りに非ざるなり

煙草作は良好

朝鮮各地に於ける煙草作は既に全部苗床より作地に移植を終りたるが南鮮地方は最近一再ならず出水を見たるも煙草移植地は槪ね高地に侍ち浸水被害を蒙る事實なき如く目下の所煙草苗の生育は良好なりと

京畿春繭初取引

京畿道龍仁郡にては二十五日午後三時より同公立普通學校に於て春繭の共同販賣の入札を行へるが販賣總量は九十石にして開札の結果特等六十三圓五十錢一等五十五圓五十錢二等四十八圓三等四十三圓の價格にて落札したり之を昨年同期の取引價格四十圓內外なりしに比すれば素より時價に多大の相違あれども品質の優良なりしに基因する所甚だ多し重なる取引者は龍山の絹糸洋行なり七月六日第二回分として百五十石を販賣すべしと

平南春繭相場

平安南道は目下春繭の收獲期なるが本年昨今の相場は極上物四圓五六十錢並物四圓十錢位下等品にて三圓七八十錢の間を往來し居れるが或地方は桑の供給不充分なりし爲め繭の品質稍劣等なるものも處々に散點せりと

群山商議員選擧

曩に設立認可を經たる群山新商業會議所は來る七月一日を期し議員の總選擧を行ふ事に決定したるが目下の處表面平靜の如くなるも新會議所設立第一期の議員選擧なれば愈々選擧期日に切迫せば意外の活況を呈すべく觀測せらる

湖南出水と郵便物

二十三日以來の大雨出水にて湖南線裡里全州間裡里群山間裡里木浦間數箇所故障不通に付同方面行き郵便物は群山方面に於て浸水箇所を輕舟にて運搬し裡里以南裡里全州間は遞送停止中なり尚ほ今明日中に復舊の見込なれど尙ほ此の狀態續かば木浦方面行は釜山經由船便にて遞送さるべし

洛東江氾濫と郵便

慶北地方に於ける二十三日來の水害甚大にして洛東江上流の氾濫著しく大邱、安東間及び大邱浦項間は郵便遞送の途を失し居る爲め當局にては浦項行郵便物は釜山經由の船便により其他の各地行きは遞送中止中なるが洛東郵便所は危險に付二十四日附近の高地に避難し北安郵便所は面役所に移轉執務しつゝあり多分二十六七日中には復舊すべしと

安東縣

▲木工講習會　安東木工廠にては昨年夏季に於て東京高等工業學校敎授木檜氏を招聘し三週間の講習會を開催せるが本年も又同氏を招聘する事となり氏は本月二十六日東京を出發し上海其他各地を視察して七月下旬頃著安する豫定なり▲木材陳列場新築　安東商品陳列館構內に各種の鴨綠江丸材を以て約四十八坪の平家を建築し各種の木材を陳列して一般の參考に資することゝなりたるが起工期は來月初旬にして十月末竣成の豫定なり

平壤

▲平壤と氷　平壤に於て昨冬貯藏せし氷は總計六十三萬貫にして總て大同江上流に於て採取せしものにて現今の相場は飲料用一貫目の卸價格十四錢五厘、冷氷は一貫目一錢五厘乃至二錢也と▲平壤記者團例會　平壤に在住する各新聞記者の組織する平壤記者團は六月二十五日例會を壽町大翠亭に於て開催せり▲人事　參謀本部陸地測量部陸軍工兵大佐庄田藤治臨時土地調査局監査官中村文吉の二氏は六月二十四日午後十時新安州より來壤旅館柳屋に投宿せり又廣江商會主廣江澤三郞氏は新義州より二十四日午後八時來壤旅館柳屋に投宿せり▲電話加入者數　平壤郵便局管內電話加入者總數現在は五百十三口、公衆電話四口にして昨年六月より二百口以上の增加を來せりと

北靑

▲中山銅鑛と北新道路　咸南北靑邑新昌間の道路は昨年の水害に因り荒廢の箇所少からざるも經費の都合上復舊工事に著手する不能其儘となり居りて交通非常に不便を感じつゝありしが這般久原鑛業會社の買收せる甲山銅鑛事業の開始と共に大貨物の運搬を見るに至り沿道各地發展の爲改修を促され咸南道廳に於ては目下技術員を派遣し之れが實測をなすと同時に一方沿道より賦役を募り改修工事を急ぎ居れり▲新浦警察新築　北靑郡新浦港に於ては沿岸漁業の繁盛なるに伴れ漸次內地人の居住するもの增加するに至り近頃司法行政事務は頗に繁忙を來したるを以て從來の警察署にては執務上不便尠からずとなし今回愈々廳舍新築の事に決定したりと

鳥致院

▲公鳥間道路破壞　公州鳥致院間道路は連日の降雨にて破壞場所甚だしく爲めに郵便物は全部大川及び論山經由にて遞送し居れり自動車等も去る二十三日より不通にて開通見込更に無く公鳥間は全然杜絕なり▲淸鳥間被害無し　淸州鳥致院は被害なく郵便物を初め自動車等も平時の通り交通し居れり水害は主として河川の沿岸及び或る一部にて其面積擴大ならず尤も甚だしき個所は稻苗若干腐敗せしも幸うじて稻苗融通の途つき植付不能苗は先づ無かるべく一般挿秧も一週間內には終了すべし▲組合決議報告　二十七日午後二時より學校組合事務所樓上にて大正四年度決算報告會を開く由

公州

▲錦江の增水　二十二日來の降雨にて錦江の增水甚しく二十四日朝に至り三丈五尺に達し殆ど交通杜絕し農作物其の他の被害甚しき模樣にて目下其々取調べ中▲郡守會議　忠淸南道廳に於ては來る七月三日より三日間の豫定を以て管內郡守及び庶務主任會議を催す由▲補助員巡査補卒業　公州憲兵隊本部及び忠淸南道警務部に於て豫て敎習中なりし憲兵補助員二十七名巡査補十三名は來る二十七日頃卒業の筈にて目下試驗中、因に引續き同數位の敎習を爲す由にて二十五日を以て管內各分隊警察署に於て採用試驗を爲す▲學校新築　公州郡新下面維鳩公立普通學校は先般來新築中の處事務室を殘し他は總て竣成せり

大邱

▲海組合管理者　今回慶北甘浦海組合管理者に井理一氏任命▲慶甘間道路改修　慶州甘浦間道路改修請願は甘浦港の繁榮に影響を與ふるものあるを以て甘浦の有志者洲脇樂造、楠井吉二郞、松岡庄二の諸氏連名を以て是が改修を共鮮に請願せり▲大邱商議選擧　今回認可の指令に接したる大邱商業會議所は愈々二十八日午前九時より評議員選擧執行すべきを發表するや從來暗中飛躍を試みつゝありし候補者は漸く其色彩を明にしつゝあり就中呼聲高きは寺田善作、阪本俊資、稻本新吉、伊藤吉三郞、木村竹太郞、加茂儀作、三島辰二、山根吉太郞、小平道三郞、三ケ尻忠吾、三橋榮太郞、若林誠助、脇坂正平、田村豐、岩瀨正助、小倉武之助、小川淸五郞、今井武人、仙波正太郞、吉村鎭雄の諸氏にして鮮人側には李炳學、鄭在學、朴基敦其他なれど中には周圍より勸誘せられ餘儀なく立候補を諾せるものもあり自ら馬を陣頭に進めんとするものあれど鮮人側は殆んど無競爭の狀態內地人側にありても左して競爭らしき活劇を演ずべしとは思はれざれど二十四日夜に至り突然有權者二十七名餘を有せる土木組合より三名の候補を出すべしとて山根氏宅に會合するに至りたれば或は選擧間際に至り意外の方面に競爭者頭はるゝに至らんも計り難し然れ共目下十二分の勝算ある者は三ケ尻、小倉、寺田、三島、加茂、山根、阪本、伊藤、三橋の諸氏と觀測さる

乃城

▲市場近況　慶北乃城市場は目下農繁期にて穀物の出廻少なく目下玄米十圓なれど牛市場は可なり賑ひつゝあり市毎に三四百の出頭平均價格四十圓▲戶口增加　大正三年郡廳開設以來內地人の移住するもの漸次增加し目下戶數二十七人口百二十餘▲金融組合事務所建築　金融組合事務所舍は目下新築工事中なるが愈々廿六日頃竣工の筈

釜山

▲病院問題協議　釜山府にては二十五日午後一時より非公式の府協議會を開き西部市街地住民より陳情せし傳染病院移轉問題に就意見を交換したり

鎭海

▲鎭海神社創立許可　昨年十月十八日附を以て來請せし鎭海神社（御神體天照皇太神宮）創設願は本月二日附を以て許可せられ更らに神社規則に依り崇敬者總代を選擧届出たり敷地としては官有地（兜山公園中腹）貸下を受け建築に著手するに決定せりと▲市況閑散　今春以來鎭海には要港部にも工營所にも工事らしき工事なく待詫びし艦隊も二回まで突如として拔錨當港を去り市況極めて閑散にて萬一を期せし製紙工場も物にならぬかの情報あり憲兵分隊警察署も格別の事件なく此頃の天候と共に陰鬱なり▲煎子移出　西川太郞一、釜山大池忠助、馬山淸水鏡行等の人々に依りて經營されし鰮利島煎子組合は有力者の計畫にて鰮網漁者の喜ぶ所となり日々の煎子買高も多額に上り朝鮮汽船も之が爲め特に一日一回の寄港を開始したより從つて漁業者は交通金融共に利便を得幸に本年は豐漁なれば秋季迄に充分の收獲を上ん見込なりと

人事消息

▲グルーゴルド氏（獨逸人富豪）二十五日夜入京朝鮮ホテルへ
▲川井公己氏（代議士）廿六日朝發京より平壤へ
▲山根武亮氏（鐵道中將）廿五日朝南鮮方面へ
▲關屋貞三郞氏（學務局長）廿五日朝平壤へ
▲足立丈二郞氏（東拓殖產課長）廿五日朝北方面水害視察中の所二十五日歸京
▲朝倉外茂鐵氏（辯護士）大連旅行中の處廿六日夜歸京
▲橫瀨四郞介氏（李王職事務官）南鮮地方出張中の處二十五日夜歸京
▲青山鍋性氏（新任平壤覆審法院判事）七月一二日頃赴任の豫定
▲野村一郞氏（總督府技師）入京中の處二十六日朝退京
▲伊藤常吉氏（三井物產員）同上
▲吉河兼次氏（日本保險會社員）同上
▲廣田直三郞氏（香川中學校長）同上
▲中井錦太郞氏（滿洲製粉重役）同上

寺內大將の元帥を祝す

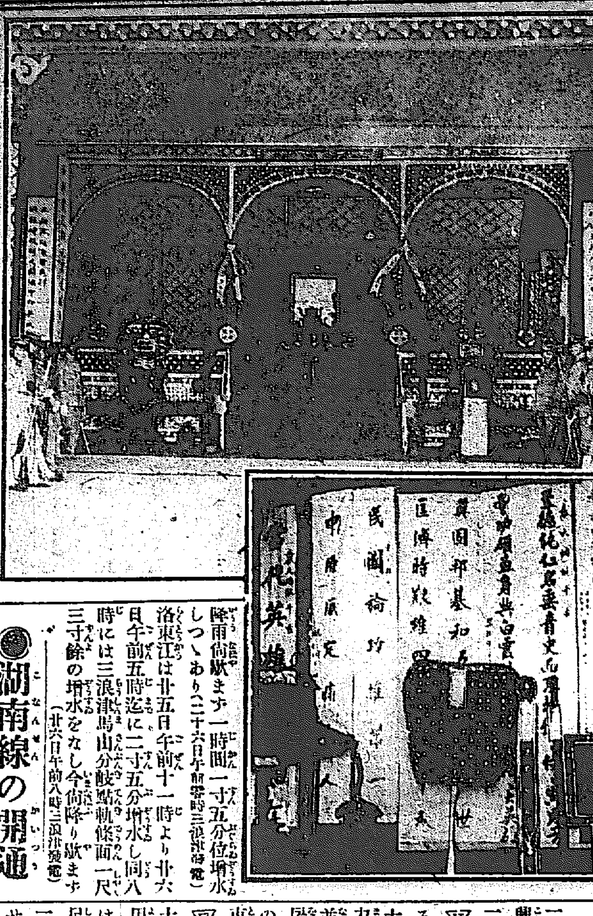
台水

國礎なる巖や雲の峰を拔く
萬民の賴む大樹や枝茂る

五龍背の會

二十四日奉天にて　中島生

〇廿一日夜南大門驛を發し北行、一座六名皆談笑の裡に、殆ど眠るを忘れ二十二日朝新義州の手前なる枇峴驛にて下車、此處にて大正水利組合長藤井氏の出迎を受け、起工式場に向ひ申候。式場は驛を距る西方一里なる回軍山と申す丘陵の上に設けられたり。路次既に掘割工事の行はるゝを見る。大正水利の規模、其の宏大なることは歸社の上別に記し申すべく、藤井氏の熱心なる活動振りは、今更作ら參列者の總てに多大の感動を與へ申候。
〇此日の暑氣はまるでお話に相成らず、歸路の如きは赤土灼熱して眩暈を感ずる程にて、流汗淋漓の如くカラアなどは若布の如くに相成候。午後二時半枇峴を發して安東に向ふ。車中は涼風吹き滿ち茲に蘇生の思あり夕刻鴨綠江の長橋を過ぐ。兩岸蘆荻の風習々として、淼波洋々。淸快人に堪へず。
〇此日の宿を此處に求めんかとは既に京城出發の前より決定し居りしもの如く車中一議に及ばず五龍背と云ふ事に相成候。此事については喜久家の女將と五龍背の女將との間に、豫て牒し合されたると見え安東より直ちに五龍背に到れば、女將萬事飲み込み顏に出迎居り候。何しろ南北の兩女將平素相提携して鮮滿統一を策し候ては、日滿當の行客は正に之れ一網打盡と申すべき也
〇五龍背溫泉には廣江澤次郞君の恰かも來遊せるに會す。彼れ何事を劃策すべく此處に韜晦せしものか、知らず北進將又圖南抑も孰れぞや。
〇一行總て相當の野次馬也。溫泉に浴垢塵を洗去つたる後の驟み方さは凄ましなんど云ふ許りもなし。此夕五龍山上の巖石も搖がん許りにて、一行中に船成金やら、木材の旦那やら、紙屋までは藥種の若旦那などの現出したる珍談有之候得共、紙上には時節柄遠慮致す可く候。



□袁氏の祭壇と輓聯 故袁總統の國民哀悼大會は六月二十一日より三日間先農壇に開かれたり毎日午前七時より參會者引きも切らず祭壇の前には陸軍の樂隊及び白雲觀道士の一群ありて咽ぶが如き樂の聲は諸輓の聯と相和して英雄の末路を悲しましむ又各方面より贈られたる輓聯には何れも袁氏の功業を賛するもの多く亦以て哀を極む

故袁總統の葬儀
喪主袁克定氏葬儀費を辭退す

内史監阮忠樞興總處主任となり準備中なりし故袁總統の葬儀は諸般の準備漸く完成したるを以て六月二十八日總統府にて柩前祭を行ひ直に出柩京漢線にて袁氏郷里なる河南省彰德府項城縣に埋葬すべく河南巡按使田文烈は墓地建築委員長に任命せられたり猶ほ喪主袁克定氏は先考節倹の素志に從ひ國家財政困難の際國祭を以て葬儀費に充つるは慚愧に堪へずとして辭退せり（北京）

支那農民の暴動
邦人七名を縛り上げて亂打す

遼陽城西三十支里大沙嶺附近夏施街の農民數百名邦人に迫害を加へたる椿事あり其詳報を記さんに奉天石本權四郎の經營に係る和盛公司は舊王府の所有地一百天地を一萬五千圓にて商租の契約成立したれば其權利確定の爲め邦人五人鮮人二名を現場に派し丈量せしむべく一行は去る十七日到着大沙嶺の支那官憲に證據書類を示し十九日實測に着手したるが村民は如何なる誤解にや急を傳へ竹鎗を携へ一揆的騷擾を以て押寄せ來り其數約五百と註せらる之等農民は遠方より發砲しつゝ見る間に七名を包圍し荒繩にて縛し上げ無法にも所構はず棍棒もて亂打し中には人事不省に陷りしものもあり暴行凌辱至らざるなきより一行は憤慨に堪へぬながらも衆寡敵すべくもあらず辛く其場を逃れ傷手を負ひつゝ陸行して遼陽に辿り附き一應警務署に事の顛末を訴へ出で其内の代表者丈け領事館に赴き委曲陳述する所ありて十一日奉天に歸れるが傳ふる所によれば巡官及び村長保衛團長等悉く此暴行を制止する所か却て裏面に於て教唆煽動せし形跡あり彼等は飽くまで邦人の商租を妨害せんとする手段に外ならずと（奉天）

洛東江の出水
沿岸一帶の增水廿八尺

▲龜浦市街に浸水 數日來の豪雨にて洛東江は著しく增水し廿五日正午頃に至り增水二丈八尺餘に達し龜浦市街全部に浸水したる爲め居留民は何れも他に避難し又龜浦以北の鐵道沿線は何れも濁流の海と化し光景慘憺たりと

▲農作物の大被害 龜浦及び三浪津地方の出水甚だしき爲め何れも農作物の被害少からざるが殊に桃、林檎、梨等の產地として有名なる三浪津は被害最も甚だしく果實は殆んど流失を見るに至りたりと（釜山）

▲三浪津の浸水 三浪津市街水害の爲め興業會社、郵便所、憲兵派遣所、小學校、驛、官舍、森田旅館を除く外日鮮家屋全部浸水し市民は右家屋旅館に避け來り損害鮮少からざるも幸にして人畜の被害なし尤も當地の避難したる驛前の日鮮人は避難の途無く一時貨物ホーム及森田旅館に避難したり當地に於ける代表的產物たる果物、野菜其他の農產物は大部分浸水し殊に

降雨尚歇まず一時間一寸五分位增水しつゝあり（二十六日午前零時三浪津發電）

洛東江は廿五日午前十一時より廿六日午前五時迄に二寸五分增水し同八時には三浪津馬山分岐點軌條面一尺三寸餘の增水をなし今尚降り歇まず（廿六日午前八時三浪津發電）

湖南線の開通

湖南線芙蓉松汀里間は廿五日午後迄に全部開通せり松汀里羅州間は廿六日中に開通の見込みなり裡里芙蓉間は廿五日午前線路築堤崩壞して列車不通となりしも廿六日午前開通せり

馬山支線不通

馬山線は洛東江增水の爲め二十五日進永洛東江間線路四哩浸水し洛東江三浪津間に於ても線路浸水し最高一尺八寸に及び廿五日午前中列車は辛ふじて運行せしも午後よりは全く不通となれり尚洛東江驛は浸水床上一尺に達し驛員は避難せり尚洛東江益々增水し馬山線三浪津川橋梁軌條上三寸浸水又引續き降雨の爲め勿禁

實話 母子の邂逅（五）
……子は母を母は子を尋ねて めぐりめぐりて三十五年……

元瑞は母を尋ね、母は元瑞を尋ねて二人共、彷徨ひの旅を續けて居つたもとより元瑞には旅費も何にもあるわけではない。腹が空けば他家の軒下に立つて御飯の餘りを貰つて喰べ、夜に成ればお堂の中や樹の蔭に這入つて寢た、お母アに似た人だと思つて後から追つかけて行つて顏を覗て失望する事などは毎日の如うにあつた。

『何方の方に行つたらお母アが居るだらう……どうかお母アに逢はして下さい……』と。元瑞は朝も晩も神樣を祈つて居つた。

さうする内に元瑞も段々大きくなつた、もう乞食など爲なくても自分で働いて御飯が喰べて行ける。そのうへ元瑞はお母アに巡り逢うた時に旨しいものや、清いな著物を貢いでやる爲めに少しづゝの金も貯める樣に成つた、元瑞は賑やかな街や港の如うな處を稼いで廻りながらお母アの行衛を尋ねて居つた。さうして居る間に元瑞はもう總角のまゝで三十の歲も越して了つたので或人の媒酌で妻を迎へた、元瑞の妻も元瑞からいろ〳〵とお母さんを尋ねる話を聞いて、

『それなら妾もこれから一緒にお母さんの在所を探しませう』。とそれから夫婦は元山、釜山、木浦、仁川、京城と云ふ風に十年間もかゝつて探して歩いたがどうも行衛が分らない。

そこで元瑞もモウ探す處はなし、とてもお母さんに逢ふ事は難しいとあきらめて、とてもお母樣に逢へないのならばイッソ生れ故郷の平壤に歸つてお父さんのお墓の傍で世を送らうと夫婦相談の上で平壤に歸つて來た、其翌日お父さんのお墓にお詣りをすると、お墓には果實や草花などが供へられて居つた、此れを見た元瑞は

『お父樣のお墓に御詣りする者は廣い此の世の中でお母樣と自分とより外には無い筈であるから、これはお母さんが此の平壤に住んで居ると云ふ確かな手掛りだ』と俄かに勇み立つてそれから夫婦して毎日平壤の町を尋ね巡つた、ある日大變お腹が空いたから二人して大同門傍の飲食店に這入つて御飯を喰べて居ると此の家のお婆さんがつく〳〵と元瑞の顏を眺めて居つたが軈て傍にやつて來て種々と元瑞の身の上を尋ねて

『それでは御前は三十五年前に別れた妾の可愛いたつた一人の子の元瑞だ』と叫んだ、元瑞の悅びは素より言葉にも繪にも及ばぬ程であつた。早速お母さんを其の飯屋から引取つて元瑞は自分の母として平壤府廳に出頭して民籍の手續を濟したのは大正五年六月中頃の事で、お母アが家出して元瑞が泣き明した晩から指折り數へて三十五年目であつた（終）

大相撲前景氣
□二千坪の大角力場

二十一日以來鎭海にて降り込められ興行を休み居れる東京大相撲一行も二十八九日頃には同地を打揚ぐべく

▽京城乘込み も近づき來れる事とて京城に於ける請元にては二十四日より明治町東拓前空地なる角力場の設備に著手せるが既に四本柱並に周圍の骨組を終り日々工を進め居れり、角力場の總坪數は仲茶屋其の他を合せて約二千坪にして入口は東拓に寄れる側

▽支度部屋は 西方三間に二十間にして中茶屋は黃金町側の板圍ひを利用して空地全部を之れに充て觀覽席は二十間四方にして棧敷は正面は九尺の二段、三方は前九尺、後六尺の二段にして正面は支那領事館裏に面せる側なり表木戸は大人三十錢小人二十錢にして

▽本紙刷込み の割引券持參者には十錢割引の特典あり棧敷は正面一桝六圓三方五圓にして既に棧敷の豫約を申し込み來る向もあり前景氣盛なり然して京城の勸進元は相撲協會並びに例年通り浪花館主西田嘉三伊藤組伊藤友次郎兩氏にして毎年の事ながら木戸棧敷料以外の祝儀その他金品の贈り物は一切謝絶する由

花代を喰ふ黑鼠

元京城本町二丁目の中券番に事務員として雇はれゐたる熊本縣葦北郡日奈久町生れ川上大藏（卅二）は昨年十二月以降本年六月中旬頃迄に其の取扱ひに係る藝妓等の花代計算書を僞造し請求金額を多く記載して千代本より前後八回に數十圓を詐取したるを手初めに有明樓、一休庵、鍋遊樂、玉水、壽美の家、北の家等より各數回同樣手段にて詐取し其他合計六十七回に四百三十一圓餘を横領して酒色に消費したること發覺し本町署に引致され取調べの上檢事局へ送らる

三名土中に埋る

全北高敞郡富安面中山里に去る十五日夜山崩れあり同里居住李正九（三二）方の住家倒壞し前記李正九を始め同人母金姓女（五〇）及び李の弟李判用（二〇）の三人は土中に埋まり即死を遂げたり

江華島の賊

江華郡府內面官廳里二十四統六戶金相根（三八）は本月六日の夜同郡同面新門里二十八統二戶趙姓女方に忍び入り竊盜を働かんとせしも家人に發見せられて之を果さず翌夜闖々しくも再び同家を襲ひ衣類（價格三圓四十錢）を竊取したるを江華署にて發見せられ逮捕の上仁川支廳に送られ笞九十に處せられたり

逃走者の自首

仁川港從事延平丸船夫原籍德島縣名西郡八田村生れ松本助太郎（三二）は本年四月十三日夜仁川支那町山崎要一方に於て同人外三名の者と共に賭博開帳中巡查に踏み込まれ他の者は其場にて逮捕されたるも同人は運よくも其場より逃走したるが遂に本月十六日仁川署に自首し出でたるを以て仁川支廳檢事局に送られたるが今般同廳にて罰金二十圓の判決を申渡されたり

錨を盜む

仁川花町一丁目擔軍村昌洙（四十）は本年四月二十七日花町三丁目海岸に繋ぎありたる富川郡多朱面長意里金連鎬所有の漁船に附しありたる錨一個を竊取したるを仁川署の刑事に探知され仁川支廳にて笞六十に處せられたり

鼻を毆る

高陽郡龍江面新水鐵里文時永（四十）は二十三日午後八時頃同里朴基元（三八）と擔擣つたのが原因で爭鬪となり時永は拳骨にて基元の鼻を毆り治療三週間を要する創傷を負はせ高陽署に引致さる

洗濯棒で

京城仁寺洞居住の支那人王順成（三二）は二十一日宅前にて洗濯中酩酊して通り蒐りたる同洞の鄭萬春が支那燒酎一杯を飲まして吳れと申込みたるより之れを謝絶したるに萬春は順成に摑み蒐りたれば順成は所持の洗濯棒にて前額部を強打し深さ骨膜に達する創傷を負はせたるより鍾路署に引致さる

硫酸を呑む

大邱錦町居住鉱力業戶塚重太郎內縁の妻きく（三四）は去る二十三日夜十時頃家人の隙を窺ひ工業用の硫酸を服して自殺を企てしが死に切れず苦悶し居たるを家人が發見して直ちに慈惠醫院に入院せしめ即夜大邱慈惠醫院にて應急の手當を施し目下治療中なるがその後の經過良好なれば多分生命には異狀なかるべしと自殺を企てし原因未だ判明せず目下取調中

水を撒いた〳〵
△面白い撒水の奬勵法

京城鍾路警察署では今回「撒水器」なる木札數十枚を拵へた、是れは管內居住者に撒水を奬勵する一方法として案出したので毎日各戶に巡查を派して撒水せよと傳達するのは餘計な手數が掛る、そこで管內三十の巡查派出所に「撒水器」各二枚宛を備へ置き本署から通知の時間に依つて毎日派出所では其の隣家に「撒水器」を交付する、木札は四寸に二寸五分位の大きさで裏面にはいろ〳〵の注意事が認めてある、此の札は順次隣りから隣りへ渡つて行くといふ方法で同時に撒水が一齊に開始される譯である、尚此他にも一般人民に傳達する命令や指導事項に就て成るべく手數を省き有効なる方法を執つてゐる

火藥の爆發

二十三日午前九時十分鐵嶺敦島町野村龍次郎所有火藥工場より出火し同所一棟全燒十時十分鎭火支那人一名重傷を負へり原因は火藥爆發に因る損害額は目下調查中

何故殺したか
三人斬の後聞

旭町二丁目洋服仕立職重永順平（四七）が廿五日午後三時近隣の餅屋仲子兼太郎夫婦及び加藤榮一郎內縁の妻野村かくの、の三名を殺傷したる當時の模樣を聞くに

▲加害者順平は 五六年前より現在の所に借家し洋服仕立を職業とし仕事も却々上手な處から丁字屋の仕事ばかりでも手に餘る程有つて毎日朝から晩まで表に顏も出さぬ位に仕事に熱心の男で有つたが生れ付き陰鬱の質で人と晴れ〳〵して話をする樣な事もなかつたが折々發作的に人に喧嘩を吹掛けたり朝鮮人などを毆たり時々女房を酷く打擲する樣な事があつた遂この頃も

▲何か癪に障る 事が有つて通りかゝりの者を毆つて手の骨を折つた事も有る位な男であつた然るに本月十一日頃某新聞の投書欄にお前の事が書いて有るよと職人仲間から聞かされ夫れ以來妙な氣に成り棟割長屋の相借である被害者兼太郎方の雨戶を自分の處の壁へ昨年三月來立掛けさせて置いた處十日ばかり前からそれを拒絶した事や近所中の姓名を列記して中村辯護士方を訪れこれ丈けの人間を殺す者である等と述べた處を見ると新聞の投書と近所の者との關係などから兎に角邪推に思つたり

▲氣も少しは變 に成つて居つたらしい、また被害者兼太郎は昨年三月から現在の處に借家し餅屋を營んで居つたが此の男は天理教の熱心な信者で商賣は寧ろ下手位の律義者であつた從つて近所ながら加害者とも餘り深い交際は無かつた兎に角近所の双方が平生から壁一重で居ながら打解けて居らなかつたのは事實である、被害者の一人加藤榮一郎內縁の妻野村かくのは家事の餘暇に近所の娘達に

▲裁縫の教授を 爲て居つた慘劇のあつた當日は恰度日曜日の事にて裁縫の弟子は來ず其の上主人加藤も外出して留守であつたが折柄內地へ注文して置いた茶器が屆いたので其の箱の蓋を開けて貰ふ爲めに兼太郎方に赴たのであつた其の時加害者順平は井戶端で顏を洗つて居つたのでかくのは平素こうテキパキ井戶端などで洗面などをして居る事のない順平がそんな事を爲て居るので『今日は珍らしいですね』と云ふやうな事を云つて兼太郎方に這入り

▲茶器入の箱を 開いて暫く話を爲て居ると突然順平が躍り込んで慘劇を演じ自首し出でたのであるが單に發狂とばかりも見られないのは順平が兇行前に妻子を寺詣りに出し、また二三日前に職人仲間の間を妙な別れの挨拶を述べて巡つた事なども有つた相である一時傳へられた如き痴情の結果ならざる事は加害者被害者双方の平常の素行で略ぼ分明であるやうである

◎拾得 仁川仲町三丁目仁川義彥（一四）は二十三日前十一時頃仲町會前道路に於て金一圓四十錢入の蟇口一個を拾得し此旨仁川署に屆出づ

◎山口呉服店の大賣出し 山口呉服店にては染絣類取揃へ廿三日より廿九日迄一週間大賣出しをなす

……を縮上ぐ 京畿道長湍……[illegible]

虐め殺す 京畿道開城郡東面……[illegible]

◎日本セメント
新荷着 在庫品豐富
京城南大門通五丁目
日本セメント株式會社京城出張所 電話五八五番

陸軍御用達
優等 清酒

釀造元 京城蓬萊町 三巴酒造場 電話一〇六七番 振替口座六一八番
發賣元 太田支店 電話一二三番
太平壤支店 電話五二一番
特約販賣所ハ朝鮮及滿洲樞要ノ地ニアリ

鐵ト浪平板
京城府南大門通り三丁目
直輸入卸商 （天）福田又京城支店 電話一二三番 振替京城二九二番
◎毎月商報發行致居り候條御一報次第御郵送可申上候

京城旭町一丁目
內科小兒科 小林醫院
入院隨意（普通病室並に隔離病室） 醫學士 小林千壽
電話六九二番

石灰は長谷川
銀牌受領
□建築用 □工業用 □壁塗用 □消毒用 □肥料用 □セメント □左官材料 □其他一式
製造工場京城麻浦
長谷川商店 電話三八三番

株式會社第一銀行京城支店
資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百參拾五萬圓
京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
頭取 男爵 澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

機械油 カーバイト
營業所 門司市錦町（電話五一五番）
車印機械油 石油輕油製造販賣
日本石油會社機械油九州西部一手販賣
信濃電氣會社カーバイト一手販賣
製油所 新潟市關屋大川前（電話三三番）
岸商店

天氣 曇 六月廿七日（午前六時）

◉英佛婦人の赤き心よ

□歐洲見物のお土産□ □坂田鳴海氏のお談□

□私の這回出會ひました英佛の家庭には戰亂の爲めに悲慘な運命に陷つた家が澤山でした

□中には長男は戰死し次男は野戰病院に臥し後には十二三歲の娘が殘つたきりの憐れな家庭も見受けました

□斯く英佛の婦人達が涙の運命を有つて居るだけそれだけ獨逸に對する敵愾心は非常なものゝやうに見られました

□從つて婦人が皆眞面目になつて萬事華美を去り實を採つて何事も地味に地味にと心掛けて居るやうです

□これは戰亂の爲め一面贅澤品に税がかゝる理由にも由りませうが私が倫敦の街頭で見た一つの掲示を見ても國民の覺悟が窺はれると思ひました

□掲示は見出しにドント(勿れ)と記して先づ必要以外の召使を使ふなとありました

□これは英國が今非常なる勞力を要する時である、假令女小供と雖も工場に事務室に働らいて軍國の後方勤務を助けなければならぬからといふ意味でありました

□次には自動車を物見遊山に用ゐるなと記してあり更に古著または流行遲れの著物に恥ぢるなとありました

□これは戰事中世間に爲すべきことが多いのに大切な勞力を著物などに費すのが惜しいからでありませう

□また小供達を誡めて空罐や空壜などを大道または空地に捨てる勿れ、若しそれを集めて貯つたならば道路も汚れず且つ英國の富を助けるといふ事を記してありました

□其の他英佛共に戰線に起つた男子のあとは皆健氣なる婦人が働らいて居ります

□彼の電車の車掌は勿論のこと大きい二頭立ての馬車を馭する婦人やさては工場、商事會社に立働らく婦人など算へ來れば際限がありません

□殊に英國では上流の貴婦人方が繃帶を手に以て野戰病院に終日立ち續けの激務に當つて居られるのは日本などで見られぬ事と思ひました

可愛らしい兵隊さん

◉產婆看護婦合格者

二十日から二十二日までに行はれた京畿道第四回の產婆及び看護婦試驗は總志願者卅八名(內產婆十二、看護婦二十六人)なりしも合格者は左の十九名なりたり

吉岡すみえ▲黑澤みさ▲遠藤まつ▲吉田よしみ▲渡邊はぎの▲中島竹代▲勸納八重▲高橋たつ(以上產婆)西山ちえ▲奥次とみ▲橋本くら▲森重やす▲遠藤むらの▲永井きわえ▲佐々木元▲鈴木つる▲張善慶▲金信成▲金光明(以上看護婦)

英國で分袂たのが最後でした

□故下村海軍中佐と坂田技師□

◇最近歐洲から歸朝された坂田技師の許へ一日遞信局の遠藤事務官が訪問されました

◇眼鏡をかけた事務官の顏を見るなり『あなたには何と御挨拶していゝか……』と坂田技師は憮然として口籠りました

◇『下村もあなたには非常に御厄介になりました相で往きの北野丸でも坂田さんと兒玉さん(伯爵弟)と食卓を共にしたなどと手紙を呉れましたがたう〳〵やられて了いました……』

◇恁麽おはなしから二人の間には故下村海軍中佐の噂が繰返されましたが坂田技師は實に日本人として最後に面語した一人でありました

◇坂田技師と中佐とは昨秋印度のカルカッタまで船を同うして再び英國でも出逢はれたのでありました

◇技師がスコットランドの某根據地でわざ〳〵クヰーンメリー號乘組の中佐を訪うた時中佐は非常な元氣で是非共實戰に參加したいと言うて居られました

◇當時海上にはビーデー提督の率ゆる大英國の艨艟が堂々海を蔽ふの壯觀を呈し就中クヰーンメリー號は最新式英國艦隊の精鋭であつたので中佐の意氣込みは非常なものでありました

◇その時中佐は頭髮を英國流に梳り肥つた軀幹に參謀の肩章をつけて居られましたが胸には英國の流行と見ゆる勲章のリボンばかりを佩びて居られました

◇『君が恁麽最新式の軍艦に乘つて最近の實戰に參加したならばそのお土產は蓋し非常なものであらう、武士が戰場に立つては死ぬる覺悟の前とは云へどうか自重して呉れ給へ……』と坂田技師は固い握手を交しながらスコットランドの某根據地を出發したのでありました

◇其の後坂田さんが米國に在る間中佐から屆いた手紙を最後の便りとして船が橫濱に著かうといふ時北海の海戰とクヰーンメリー號の沈沒が報せられました

◇『英國で聽いた奥さんへの傳言もあるが這回はお目にかゝる勇氣がありません何うかよろしく被仰つて下さい』と坂田さんは氣の毒相な面色をなさいました

◉浴衣縫ひ競爭 元山公立實科女學校にては先般二年生一同の浴衣競縫をいたしました午前九時二十分の林田氏が五時三十二分、九五點の稻野氏が五時三十五分で入りました

◉裁縫學校移轉期 南大門外の裁縫實習女學校は這回黃金町一丁目に新校舍建設來る七月下旬移轉の筈

◉ホツガアード氏轉任 朝鮮の救世軍司令官ホツガアード大佐は近く他へ轉任されます

◉采擧教諭 京城高等女學校敎諭采擧隆敎先生は今又京都大學に於て開催の講習會へ出席されます

◉第四回音樂會 私立釜山實習女學校第四回の音樂會は愈々二十四日二十五日の兩夜釜

番茶のあと

此の廿八日は袁世凱氏の葬儀當日に當ります▲京城を出世の第一歩として四百餘洲の元首とまでなつた支那一代の偉人も這回はなつかしい河南省彰德府なる項城縣の故山に眠らうとするのであります▲支那では葬儀に莫大なお金を費します▲上流の家になりますと先づ七週間は死人を家に置き毎日お客に饗應をしなければなりません▲それに死人には新らしい著物から新らしい冠、靴まで著せますからなか〳〵容易な金では死なれませぬ

回金銀豆腐 玉子をつぶして鉢に入れよく〳〵かきまぜ之と同量の冷たる澄き煮川を加へてまぜ別に流箱に美濃紙をしき其中に入れて蒸籠にて蒸す此の時火を強くせざる樣注意すべし後之を出して冷し長さ一寸二三分幅四五分に切り細波の形も同じ形に切り皿に黃色と白を代るがはる盛り合し花鰹をかけ合せ醬油を添へて出す

―△會いろ〳〵▽―

□仁川小供會 佛敎講年會館にて廿五日午前十時より開催、中島小學校長及び阪木幼稚園長の有益なる講話あり會衆數百名盛會なりき

□商專學藝會 廿四日午後一時より仁川商業專修學校にて開催英語並びに漢文に關する生徒の講演ありて面白き餘興も試みられたり

□輝風琵琶會 仁川本町奥川商店羅紗部階上に於て廿五日午後八時より在京城筑前琵琶師派の大家荒巻輝風氏の琵琶會ありて盛況なりし

神社と教會とお寺

○西本願寺(若草町) 廿六日午後八時より月例講話あり

○華頂寺(平壤大和町) 二十五日午後一時より華頂婦人會を開催住職大谷前敎氏の宗祖圓光大師の行に關する法話ありたり

出席されることとなりました第一日の演奏曲目は▲君が代▲合唱▲箏曲▲ヴァイオリン▲獨唱(森の鳥)▲合唱(流水の曲(夏の小川)▲ヴァイオリンとピアノの合奏▲箏曲(梅づくし)▲合唱(麻の雀)▲ヴァイオリン獨奏▲對話等

◉全州小學記念式 全羅北道全州尋常高等小學校にては來る二十四日を以て創立記念式を擧行す

商況

東京株式特電

二十四日 前場寄付 大引

日本郵船 京城電氣 鐘淵紡績 同新株 日本麥酒 東株第一 東株第二 東新第一 東新第二 [illegible]

公債直取引(特電)

東京 二十四日 前日との比較 九五、四〇

深川在米特電

二十四日 川米鑑定 九分特肥 五分津輕 一回四分 二回四分 平五分 [illegible]

東京期米特電

二十四日現在高 朝鮮米 蕃地米 內地米 [illegible]

大阪株式特電

二十四日前場 種類 寄付 後場引値

大阪三品特電

二十六日前場 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 十一月限 [illegible]

大阪期米特電

二十六日前場 [illegible]

下關期米特電

二十六日前場 [illegible]

雜報

二十六日前場 寄付 高値 安値 止め [illegible]

◉染料類の其後

[illegible]

◉牛皮益々好勢

[illegible]

◉出廻り稀薄

[illegible]

◉清酒本火下押し 七十二三圓

[illegible]

◉弗々薄火の入荷

[illegible]

◉漸次價格の下押

[illegible]

◉燐寸依然不味

[illegible]

◉洋傘取引略終了

[illegible]

下關相場

▲大豆は先づ保合 [illegible]

鬮共同販賣狀況

○慶南密陽(二十五日) [illegible]

○京畿道龍仁(二十五日) [illegible]

各地商況

○木浦(二十四日の穀物) [illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川期米

▲二十六日前場 一昨止同事の入電 三節三十二錢と安移 [illegible]

▲大阪四節三十錢 [illegible]

行賈仲買店 吉 [illegible]

市場零聞

▲依然保合ひ [illegible]

▲市場は閑散 [illegible]

▲倘小相場乎 [illegible]

▲中限の問題に接近 [illegible]

▲增證徵收 [illegible]

▲臨時增證 [illegible]

十圓證據金百五 [illegible]

九十圓の證據 [illegible]

利 仲買店 [illegible]

▲稀有の洪水 [illegible]

▲田畑一面の濁水化 [illegible]

仁川米豆取引所

二十六日の八月限 [illegible]

賣買取組高 [illegible]

小賣白米

[illegible]

北濱だより

▲砂糖株 [illegible]

▲硬派の期米談 [illegible]

演藝案內

大正館

櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

◉六月二十二日より新寫眞 [illegible] ◉喜劇二人の [illegible]

◉新派活悲劇意外の秘密 全三卷卅七場 [illegible]

◉米國ライスフォード會社傑作 ◉泰西軍事大活劇傳令使 全二卷三千尺 [illegible]

◉大活劇忍術名人神通力源太 三百卅七場 [illegible]

黃金館

今や全人氣黃金館に集まる

▲世界的大冒險大活劇 ▲第二名金 全五十卷の內引續き上場

舊劇 二代目猿飛佐助 全五卷

「名金」映寫時刻 夜間午後八時より

電話 一八五二(階上) 二六三七(階下) 黃金館 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 Mカシー商會 朝鮮一手代理店 [illegible]

壽座

本町 電話五七八 曾我廼家蝶々會 三日目替狂言 [illegible]

浪花館

明治町 電話二六〇番 ◉お馴染の恭爲獨演會 六月廿三日より毎夜七時開演仕可候 ▲前座員出演 △因果裁判、善惡乳兄弟、女天一双子美人(右長講三席京山恭爲) ◉入場料特等の外十錢均一

御成座

御成町 電話一九一 第十七回目替狂言 一番目 此の妻子 全七場 二番目 悲劇 恩 全二場 [illegible]

祝仁川支局發展 日鮮人向雜貨輸入商 仁川本町 鈴木倭商店 電話一一一番 振替京城一三二番

祝仁川支局發展 日本生命保險會社代理店 橫濱火災保險會社代理店 仁川海岸町二丁目 大阪商船株式會社 仁川支店 電話一二一番 二五〇番

祝仁川支局發展 仁川港京町 鬼頭兼次郎商店 電話六六番 振替京城六八番

祝仁川支局發展 會席御料理 仁川宮町 うなぎ 榮亭 電話四二九番

祝仁川支局發展 仁川ホテル 電話五二一番 會席御料理 仁川仲町 朝日樓本店 電話五三番 仁川敷島 朝日樓支店 電話二五三番

祝仁川支局發展 會席御料理 仁川日本公園 八阪樓 電話三六番

祝仁川支局發展 貿易酒造 仁川本町四丁目 吉金喜三郎 電話長七六四番

祝仁川支局發展 輸入貿易商 日鮮向雜貨 平壤 河野支店 安州 河野出張所 鎮南浦 河野支店 宣川 河野出張所 仁川本町四丁目 河野本店 電話二八番 二八番(カ) 電信略號 振替京城一一二番

宮本武藏

第八十一回

桃川如燕口記　浪上義三郎速演

宮本武藏は僧位山の頂きまで來てホッと一息を吐き、フト傍らを見ると堂が有つたから、其の山神の堂の緣側へ腰を掛けて考へて見たが、何うにも仕やうがない、火傷で身體は惱むし空腹には成つて來るし、其も外の者を殺したのなら御城內へ行つて私は斯ういふ身分の者だが災難に逢ひましたといへば、武士は相見互ひ殊更高名の宮本先生だから誰でも喜こんで世話をして吳人があるだらうが、併し姫路の家來を殺したのだから、自分の手に掛た門人の中にも重役の二男三男が居るだらう、サア是が宮本だといへば殺されるに極つて居る、然れば城內へ行つて賴む譯には往かない、依て何う仕やうかと頻りに思案に暮れて居りました、所へ下からバラ〳〵人が登つて來る樣子ゆゑ堂の後へ身を隱して居ると二人の男が猿轡を嚙ませたる少女を引擔ぎ、一人は大きな葛籠を脊負つて銘々長劍を佩て登つて來たのは察する所火事場を働いた惡漢に違ひない、尙も宮本は息を凝して彼等の擧動を見て居ると、火打道具を取出してカチ〳〵火を打附けて枯枝を掻集めて焚火をいたし、是から右の少女をば强姦うとでもいたしさうな工合だ、見るに忍びず宮本が早くも胸に浮んだ一策『武』ヨシ此の惡漢共を追拂つて此女を助け、此の娘の家へ往つて此の身の落著を賴まう、併し先方は三人で長劍を佩て居るし、此方は無手だ、どうしたものだらう、ウム然うだ〳〵、傍にあつた巨大な石に足を踏掛けウーンと向ふへ轉覆すと、ズヽヽンーと地響がしたので、三人の惡漢が、何んだらうと云ふ裡に谷間へ投り込むだからカラ〳〵と向ふへ當り此方へ打附かり谷底へ大石がドンと墜ると夜分ではあるし山彥に反響してゴーと鳴る、時ならぬ甚い物音だから、何事ならんと三人の惡漢がキヨト〳〵して居る、宮本先生は身が輕いからヒラリと堂の家根へ飛上つて兩手を廣げて大音揚げ『武』ヤア〳〵慾心非道の强賊共、當山を穢さうとした可憎い奴、片端から引裂いて喰ふから覺悟をしろッ』と呼ばつた、三人の惡漢は山の神樣と間違ひたから『ソレ出た、逃げろ〳〵』とドン〳〵麓の方へ降りて仕まつた、宮本は直ぐ家根より飛下りて、先づ娘の猿轡を取つてやる、女は尙も慄ろいてオド〳〵ワナ〳〵して居るから『武』さてお女中私は決して惡漢ではございません、貴女は思はぬ災難に出逢つて斯くの始末何れ貴女のお宅へ往つて委しくお話しを致しませう、何方でござるかお送り申しませう『娘』眞正に有難うございます、妾は高井田といふ所で、藤島右門と申す神官の娘でございますが、今晩の火事沙汰でございますに依つて、母と二人して親類共へ立退ふと逃げて參る混雜の中を母に失れました、據なく一人で參る途中只今の惡漢共に捕はれて此所へ參り既に膚身を汚されやうとする所へ貴公樣の御庇護で助かり、有難き仕合でございます、切望宅へ入らしやつて下さいますやうに、兩親からも御禮を申し上げさせたうございますから『武』イヤ私は貴娘の御兩親に對して御願筋が有るものだ、兎も角、御一緒にまゐりませう、併し裸體では致し方がない、何うか貴娘の著物を一枚貸して貰ひたい『娘』承知致しました』と娘は單物の上著を著て居たが、下に著て居る小紋縮緬の小袖を脫で與へる、是から宮本は娘の緋縮緬を借りて締め、猿轡に用ゐたる手拭で頰被りをいたして面體を包み、娘と同道して高井田といふ所に來る、此方は風臘になつたから娘の家は助かつたし女房の所在は分つたが娘の行衞が知れないのでサア大變心配して『父』誘拐に逢つたのか其とも燄に捲かれて死はしないかと八方十方へ人を出して探させて居た、所へ娘が戾つて來た『娘』お父さん唯今歸りました『父』オ、娘か何うした無事で居たか、皆で案じて居たサア〳〵此方へ上れ『娘』アノお父さん此所へ妾と御一緒に御入來なすつた御方は妾の爲には大恩人でございますと云ふから見ると娘の著物を著て頰被りをした男、

京城南山町三、巴城館通り
齒科　醫學士　橋本淸次郎
電話二九二〇番

入院隨意（診療夜九時迄）
泌尿器病　腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　痳疳　皮膚病　專門
永樂町二丁目　金光敎會隣り
安部醫院　電話一九一四番

六月廿八日九星
舊五月廿八日丙申
本命四緑　歸　滿　友引

▲四綠　氣の知れた懸引有る日新事見合北方は吉　▲五黃　泣つかれ損の事有る日新事手控旅行は吉散財を防がるべし　▲六白　平謝の日なれども新事控目の方吉　▲七赤　粧び損の事有る日新事手控移轉は吉物に用心せらるべし　▲八白　女難小盜用心の日新事手控普請土工は妨なし　▲九紫　大利の日轉居開業入學名弘採鑛金融婚禮運輸を開く等萬吉　▲一白　めでたき日轉居旅行求職入學金融普請婚禮組合等大吉　▲二黑　夢のような事有る日新事手控移轉は吉一切のせわ事なす　▲三碧　同情掘り物の成就する[illegible]

內服新藥　小林氏　ニーリコ
◎淡黃色透明粘稠香氣ある液なり
適症
◎腫物（はうかしき炎。ちよう。ひよそ。乳腺炎）を切解を要せず內服にて治す又
◎神經衰弱脚氣に卓効あり
◎二百瓦入と四百瓦入の二種あり

◎殺菌的收斂藥　アンチオレ
◎本品は止瀉藥として總ての下痢病に著效あり
◎本品は粉末と錠劑の二種あり
製造元　東京麻布新網町　小林正誼堂製藥部
朝鮮京城本町一丁目　天佑堂藥房
朝鮮一手販賣　山岸祐太郎

株式名義書換停止公告
來ル七月一日ヨリ第一回株主定時總會終了迄株式名義書換ヲ停止ス
大正五年六月
朝鮮輕便鐵道株式會社

懸賞尋人

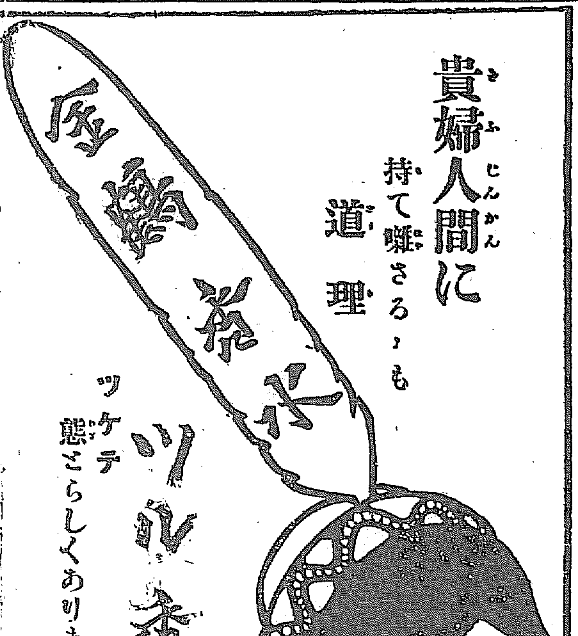
原籍福岡縣八女郡下廣川村當時平壤賑町勇樓方抱娼妓初菊事江口キクエ
年齡二十二歲、身長五尺一寸位、長顏色淸白く、九州訛、左頰に腫物の跡あり、肉瘠せたる方、右本月廿日逃走發見通知の方には相當謝禮す

M印
名聲大賞牌受領
ミツワ
大阪靭物町四　段田商店

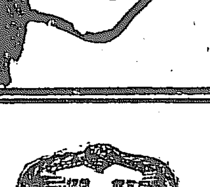
茂木式特許製
ほまれ味噌
日本醬油株式會社京城出張所
電話二四五番

橫濱乾牛乳
純粹番搾ヨーグルト
場主獸醫　肥塚正太
京城蓮池町四
東亞牧場（電話五二二番）

口中を
爽快にする事他の如何なる齒磨よりも遙に優れる
科學的
クラブ齒磨
遙に優る
クラブ齒磨は化學作用に依て……齒を强く美しくするのみならず……口臭口熱を去り……口中を爽快ならしめ……淸新の氣分を與ふる事他の如何なる齒磨よりも遙に優れり……是れ近來クラブ齒磨の賣行特に益々盛んなる所以なり

貴婦人間に持て囃さるゝも道理
ツル香水はツケテ態とらしくありません


★
資本金五百萬圓　頭取　安田善三郎
京城本町壹丁目
株式會社百三十銀行京城支店
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候


攝津灘
大塚釀造所吟製
京城本町二丁目
發賣元　前田酒店

(明治四十二年八月十日第三種郵便物認可)　月曜日休刊　第三版

京城日報

廿七日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 郵税一ヶ月金拾五錢
廣告料 五號活字一行金七拾錢

發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社 太平通一丁目

大阪期米時電　東京期米時電　下關期米特電　仁川米豆取引所

治山と治水　京城日報

朝鮮總督府が、大正四年度より、鮮内十三大河川の調査に着手し、去月末を以て、其の根源たる踏査は、先づ以て一段落を告げたりと云ふ。之に伏て愈々治水事業の根本計畫成り、更らに進んで其の精細なる實行的調査期に入るべく、洵に慶賀に堪へざる次第也。

朝鮮半島の地形たる、中央に高嶺峻嶽峰を連ねて南走し脊梁山脈を作り居るも、支脈の四方に走するもの概して高峰をなすもの比較的尠きが故に、自然川流も其の流域長くして而も急速矢の如きもの多からず。然れども舊韓國政府時代に於ける、治山治水の方法其の宜きを失し、爲に川流は、其の自然に委せられたるが故に、一朝降雨季に遭へば、濁水は沼なうして、忽ち四方に氾濫し、殊に毎年其の氾濫時期が、農業上最も大切なるの時なれば、其の災害に由て、農民等は忽ち窮乏に陥り、延ては社會の治安を害するが如き行動、尠からざるは、世人の能く知る處なり。然れども治水の事たるや、急を以て論ずべきに非ず、先づ治水を行はんと欲せば、治山を前にせざるべからざるは當然の事なり。されば當局が年々植林を奬勵し、最も治山に意を注ぎたる所以、其の來る處や頗る遠大の抱負あるを知るに足るべし。而して治山の事たるや、上下共に此處に留意し、相共に朝鮮の開發を計り、一は以て當局の施設を扶けざるべからず、一は以て其の好果を收むるに努めざるべからず、之れ即ち上下の利福增進にあればなり。

今回其筋に於て、踏査事業を終了したるは漢江、大同、禮成、蟾津、洛東、城川、錦江、瀛江、大寧、臨津、榮山、載寧、龍興の十三大河川にして、是等各河川が、既により農產上、交通上に缺くべからざる處なりと雖も、而も之等が、一朝氾濫と共に、其の齎すべき災害が、良田を化して滄海となすに至つては、邦家の損害此の上やある。又た之を交通上に見るも、現に吾人は本年の此雨季に於て、各所出水甚だしく、南鮮地方は、殆ど交通杜絶の狀にあるは、遺憾此の上なきも、之れ洵に止を得ざる事に屬す。

人或は謂はん、治水は朝鮮の喫緊事たりと。然り、然れども治水の事たる、之を根本的に行はんと欲せば、頗る重大の事業なるが故に、調査研究其の宜を得て、而して之を行はざるべからざるは、論なし。當局が愼重審議、徐ろに下さんとするは、洵に茲にありて、最も當を得たる事と云ふべく、吾人は近き將來に於て、此治水事業の、根本計畫の出現を聞き、洵に欣喜に堪へざる也。

支那近事

△決死隊の召還　昨冬雲貴に革命軍起り北京政府より征討軍を派遣せし時奉天二十七、八兩師よりは敢死隊一營に機關銃隊を附し隊官劉占一引率の下に南下せしめたるが目下南軍已に停戰したるを以て張奉天將軍は馮將軍と商議の上劉隊官に至急歸奉す可きを命じたり

△帝政書類燒棄　黎總統は帝政の完全に取消されたる今日に於て其殘黨を追窮するは民心を融和するの道にあらずとて各官署に保存せる帝政に關する一件書類を盡く燒棄す可き旨を國務院に命じたりと

△金融維持一法　奉天は中交兩銀行の兌換停止以來各項徵收の稅金其他鐵道電報費等皆中交兩銀行紙幣を以てする事として金融の維持を圖りつゝあるも猶不安なるを以て張將軍は私囊より一萬元を發して中國銀行に預入し更に各大官其他富豪大家等にも其餘金を二銀行に預入す可き旨を諭示せりと

城壁文學

小田省吾

(第三)漢陽宮闕の築造(一)

附 景福宮沿革

李朝太祖が漢陽に遷都した時には、まだ都城があつたのではない、宮闕があつたのではない。誠に取り敢へずの遷都であつた。太祖實錄三年十月の條に

『甲午(二十八日)新都に至る。舊漢陽の客舍を以て離宮となす。』

とある。此の時まで高麗肅宗の建てた宮闕が尙存して居つた筈であるが(麗末の二王が一時遷都したことある位ゆゑ)其の規模の極めて小なると既に二百九十餘年の星霜を經て毀壞して居つた所もあつた等種々の事情から、太祖は之に居らずして、一先づ漢陽府の客舍を離宮として、之に落著いたのである。太廟、宮闕、都城は何れも是れからそろ〳〵造營に著手された。然るに旣に始政五年記念物產共進會のあつた時、京城協贊會から發行した京城案內に『三年太廟及宮闕成りて遂に都を遷せり』とあるが、何に據つたか知らぬが事實を顚倒して居る。

太祖が爲に都を漢陽に移さむとするや、先づ新都宮闕造成都監を置き、權仲和、鄭道傳等を遣して廟社、宮闕等の位置を定めしめた事は旣に陳べた通りである。其の記事を見るに『仲和等前朝肅王(高麗肅宗のこと)の時營む所の宮闕舊址狹隘なるを以て、更に其の南を相し、亥山を主となし、壬座丙向とす。平衍廣闊にして群龍朝揖には乃ち面勢の宜を得たり。又其の東數里(約十町位に當る)の地を相し、坎山を得て主となし、壬座丙向とし、以て宗廟の基となす。皆圖を作りて以て獻ず』とある。卽ち宮闕の位置は、白嶽の南麓なる舊高麗肅宗朝宮闕の更に南に當る平衍廣濶の箇所とあるから、今の景福宮は正しく之に相當するものである。宗廟は其の東方約十町で同方向に設くとあるから、昌德宮と地續きなる今の太廟は此の記事に符合するのを見る。序に說明をして置くが易の方位に依ると、坎は正北で、亥はそれより少し西方をいふ。由て坎山は京城の正北方に當れる鷹峰(昌德宮の後方の山)であつて、亥山は其の少し西に當る白嶽を指すものであらう、又壬座丙向とは何れも北を後に負ひて、今日の方角で言へば北北西より南南東に向つて居るのをいふのであることを云うたもので、現に景福宮太廟は此の通りの方角に向つて居る』

南北支那經濟觀(一)

木村鮮銀理事視察談

北支那の關門天津

旅程―天津と白河―天津の將來如何―制錢輸出禁止―兌換停止觀―救濟運動

朝鮮銀行の木村理事及び佐藤、高橋氏等一行が支那視察旅行の歸途、滿洲各支店出張所々を巡視して二十四日奉天に來ると聞き、新義州に來て居た記者は廿四日北行して一行を迎へた。次に掲ぐる記事は木村理事の談話で、記者の奉天土產の一である。(中島生)

▽視察の行程　僕等一行の旅程は五月二十一日京城を發し、奉天より京奉鐵道にて天津に到り、三四日滯在、其より北京に行き滯在中に張家口を視て再び北京に歸り、京漢鐵道にて一晝夜半苦熱と鬪ひ漢口に著、三四日滯在して揚子江を下り、大冶鐵山を見て再び下江して南京に上陸し、滬寧線にて上海に行き四五日滯在、上海より引返して蘇州を經て南京に復り、揚子江を越ねて浦口に到り、其より津浦鐵道にて濟南に赴き、一時間許り市中を見、山東鐵道にて青島に出で、二泊の後海路大連へ渡り大連二泊、營口一泊の後長春へ直行し、四平街、開原を經て奉天まで來たので、是れから安東縣新義州を經て二十七日夜には歸京する豫定である。以下順路各主要地の視察見聞の概略を摘んで話さう、先づ天津より始める

▽日本租界　天津の市街は租界と支那町とに別れて居り、租界在住の日本人は三千許、支那人は約二萬を數へる。流石に天津の租界は立派で、殊に幸なるは日本の租界が支那町に近接し、列國中最も好位地に居る事である。但し河川の利用より云へば日本租界は船付きが惡いと云ふのは下手に萬國橋といふのが有つて、此橋より上には汽船が入ることができず、此れは缺點の一である。若し何等かの方法で船付きが良くならば、日本租界は更に一段の殷賑を呈するに相違ない。御承知の如く天津は白河の岸にあつて、何千噸といふ汽船が出入する港である。然るに白河は先年水害の爲めに本流の水が外河に移つて減水し舟楫の便を著しく妨げて居る。併し我等の行つた頃には之が改修の方法が講ぜられて居た

▽天津の將來　天津の將來に就ては青島漢口等の益々發展するに反し天津は衰微するのではあるまいかとの懸念說もあるが、實際行て見ると成る程鐵道が出來れば青島や漢口へ多少貨物を奪はれないとは言ひ難いけれども元來附近に農產物は多し、殊に奧地に廣大なる蒙古を控ね其の開發せらるゝと共に年々農產は增加する故天津の衰微といふ事は殆ど有り得べからざる事と思ふ。元來今日でも天津は輸入超過の港であるが、近頃は農產物の增加と共に輸出も亦增加し、殊に軍需品關係の物が著しく數量を增して居る。又銅價の騰貴の爲め制錢の輸出が非常なもので約一萬噸は輸出されたらしい。然るに支那政府では銅塊として輸出するのは差支ないが、制錢だから不可と云ふ譯で、種々相談の結果六月十九日を以て制錢輸出を禁止するに至つた。併し日本商人に對しては大目にして居ると云ふ。兎に角制錢輸出は大きな問題となつて居る。

▽兌換停止問題　恰度此折柄例の中國、交通銀行の兌換停止問題が起つた、今日は旣に下火であるが當時は盛なもので何處へ行つても此の事の話で持ち切つて居た。市中では噂して兌換を停止した結果は外國が捨てゝも措けず之を救濟するに相違ない、然らば袁世凱は兌換停止の金を軍資に充つるであらうなど傳へられて居たが、之は穿ち過ぎらしく、成程當時苦しかつたのは事實だらうが、兌換停止は結局已むを得ざるに出でたので、敢て政略上より出でたのでは無いと自分は見たのである。斯くて兌換停止に對しては『金融維持會』といふものが組織され、日本人側と支那人側双方から金を出し、二百萬圓の資金を調達して兌換に充てんとしたが容易に行はれず遂に金額と人數と時間とを制限して兌換を實行して居た。余等の行つた頃は市中も稍落付いて居た。若し彼の際に日本が救濟に當つたらば大いに好結果を齎らすべきであつて、他の外國側も救濟方を申出たのであつたが、日本の方針が之を不可なりとしたので、支那人間では餘り面白く思つて居ないやうである。

日報俳壇

雄子郎選

夏　雜

父母の留守訪ふ伯母來て餅つける　容堂
朝草を刈る手に影や通り雲　同
水泳や顏打つ波に白帆見ゆ　同
影を地に土塀に生えし草涼し　同
谷水を堰きて遊ぶ子裸かな　同
水撒きし道や囚人列び過ぐ　同
下闇や荷馬草食ひ人いづこ　同
知らぬ間に谷の家灯す若葉哉　同
餘花散るや岩間に遊ぶ山鼠　同
薔薇散るや日に寒し寺の上　同
句の悟得て來し園や薔薇匂ふ　同
パコダ公園にて三句
町の灯に山戸閉ぢ薔薇匂ふ　同
演奏の休みを來しが薔薇の月　同
菖蒲見ろ目を奪ひ飛ぶ鵲よ　同
烈日を大樹の扼きし菖蒲哉　同
新橋止めて蹇跡なし薔薇の月　雄子郎

□小生今回京城俳壇の選を辭するに付最後の分として夏の句を報る。諸彦六月三十日迄に京城府瑞麟洞三十四番城會宛投稿の事(雄子郎)

△全北通信　全州より…(以下判讀困難)

廣告

白菱四六判正五十三斤拾七萬參千枚
右賣拂ス詳細ハ六月二十七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

新刊書御案內

書名	著者	定價
大增補模範英語辭典	持	一、八〇
支那研究	東亞實業研究會	一、〇〇
臺灣殖民發達史	東鄉實	一、八〇
電信及電話	久萬亮吉	一、〇〇
實用最新海記の發方	佐々木政吉	七〇
手數のいらぬ新らしき珠算の秘訣		五〇
工業化學便覽	岡部先	一、一〇
新撰應用强肝術	渡邊勤川	九五
安産のしるべ	岩崎直子	九五
新俳句自在	中内蝶二	二、〇〇
特選秘訣陳立くづし法	土居市太郎	五〇
日本經濟論	福田	一、三〇
エレンケイ兒童の世話	原田實	一、二五
女性原型クラーク入門	手塚迂人	五〇
卒業してから		四五
東西文學比較評論	高安月郊	三、〇〇
アダム以前	佐藤春三郎	八〇
肩掛を下して	鈴木悦	一、〇〇
實劇論集	小山內薰	一、一〇
海の趣味	若林欽	一、二〇
銀の鍵(上)	西川	一、三〇
初對面	雨宮鏡	九五
縮刷修省論	幸田露伴	一、〇〇
寂しさのきほとけ	久世勇三	一、三〇
新式傳藉資典	增田次郎	二、六〇
受驗者必讀法律講義	阪上綱吉	特七五

京城本町 電話一〇八六 振替京城二五七三
大阪屋號書店

「創業二十年記念特賣」

▼特賣期限―六月卅日限▲

論語解義 簡野道明先生著 (最新刊) 天金全一冊 定價二圓五十錢 特價一圓二十錢 小包料十二錢
和漢名詩類選評釋 簡野道明先生著 天金全一冊 定價一圓七十五錢 特價一圓四十錢 小包料八錢
增修故事成語大辭典 簡野道明先生著 (縮刷本定價三圓五十錢 特價二圓八十錢 郵稅十六錢) 背皮製全一冊 定價五圓五十錢 特價四圓二十錢 小包料二十四錢
佛教辭林 文學博士 南條文雄師校 文學士 藤井宣正師著 島地大等師補 背皮製全一冊 定價四圓五十錢 特價三圓八十錢 小包料十六錢
漢籍解題 早稻田大學講師 杜 湖郎先生著 洋布製全一冊 定價三圓 特價二圓四十錢 小包料十二錢
新古今和歌集評解 文學士 窪井正男先生著 洋布製全一冊 定價三圓八十錢 特價三圓 小包料二十錢
平家物語評釋 文學士 內海月杖先生著 洋布製全二冊 定價二圓 特價一圓六十錢 小包料十二錢
古今和歌集評釋 國學院大學講師 金子元臣先生著 洋布製全一冊 定價二圓八十錢 特價二圓四十錢 小包料十六錢

▲內容見本―申越次第贈呈▼

東京市神田區錦町 株式會社 明治書院 電話 本局 二九四 一八三 番 振替 東京 四二 九四 一八番

朝鮮諸官廳受驗者必讀 法律講義
京城高等普通學校教諭 阪上綱吉先生著 菊判二百六十餘頁 特價七十五錢 送料八錢
本書は法學通論、憲法、行政法、刑法、民法の五篇より成る、著者多年の經驗に基き類似題を付したるなど其法理の闡明徹細に渉り懇切周到行文簡明直に採て以て受驗者の爲めに特別講義せられし案を敷衍し之に通俗的解說を施し各節に法理圖解と最近試驗問題及好答案を登載したるは受驗者に好答案たると同時に獨習者の良師友たるべく登龍門の裨益ある人に必讀を要す
發賣 京城本町 大阪屋號書店 振替京城二七三 電話八〇六

サクラビール
新時代の代表的好飲料なり
御愛飲を冀ふ
壹本宛買ても景品劵が貰へます
京城南大門通二丁目 神戸 合名會社 鈴木商店京城出張所 電話二九二

京日案內

普通(一回前金三十錢 匿名一回毎に金五錢增)
番外(一回前金六十錢 匿名一回毎に金五錢增)
▼申込後中途掲載中止の節は前金返戻せず

●店員入用 但し十五歲より廿歲迄市內に確實なる要保證人本人來談 京城旭町一丁目 東西藥房 890
▲貸資 鐵道官吏會社員向家賃格安 日本建實使用の便あり 電話二四三六 京城花園町 873
●有給外交員採用 希望者は履歷書携帶本人來談あれ 帝國圖書普及會朝鮮支部 883
●●貸金 月收の御方は信用其他擔保 ▲低利秘密融通 電話二七七 京城吉野町一丁目百廿七番地 884
◎貸金 月收の御方へ信用秘密融通御報伺上候 京城大和町三 885
(不老湯前横丁下ル) 起木屋
●銷夏の好慰樂 ◎新刊雜誌の貸文庫 ◎御申込の時は早速持參 京城本町一●電一三七八報 松井松榮堂 869
◎古本高價買入 ▲書籍賣拂は試賣を乞ふ 御報即刻參上 ▲勉强是非御來堂を 京城本町電話二七八一番 群書堂 348
住宅地賣却 工業傳習所正門前へ入る高臺にて眺望佳絕の土地百〇弐坪を一八四五番へ 安價に賣却す 御希望の御方は電話御來談を乞ふ 894
式理想經濟風呂 燃料半額消費 加減自由 完全無比 ▲入用方ハガキ 京城旭町一丁目(京城府立學校通) 川崎桶店 889
新築移轉 嶋崎病院 入院隨意 診察夜九時迄 電話二七三六番 888
重石買入 鑛山測量一式 891
鑛物鑑定分析 金石商會
賣家 但し解き除けを要す ▲瓦葺二階建四戶住一棟 ▲同一戶住二棟あり ▲同二戶住一棟 京城鍾路通二丁目 本町二丁目 電話四七六番 關商店 電話一八九九 886
◎鑛山測量開業 土木水利測量設計製圖調査 忠州竹內鑛務所 868
△農產種子卸問屋 御定價表申込次第郵送す 東京千住在保木間 種甚商店 850
◎除蟲菊粉發賣 害蟲驅除 京城南大門外 朝鮮勸農株式會社販賣部 873
恩給 年金短期立替 月利壹步弍厘五毛 無保險迅速融通 京城武橋町二三番地 電話二二八三番 國江商會 336
廣橋自働車組 京城春川間運行自働車賃金片道四圓 毎日午前八時出發 電話二二九番 主務 金正淵 322
恩給 年金低利秘密 其他日獨郵便金通帳買受 京城永樂町一丁目 商品陳列館表門前 北方一丁 京城日報社 卽時 御立替 數年分 845
移轉 今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉仕候 京城南大門通三丁目(香木堂隣) 江州屋本店 879
萬祥堂印房 電話一九九五
問合自働車 京城春川間乘合自働車 賃金片道四圓 ●京城發午前八時 ●春川發午前九時 京城水標橋通り電話貳壹參八番 春川自働車商會 支配人 松田壽男 850
商品切手 何處の商店發行も高價買入申候(御報次第參上可仕候) 旭町二丁目角横山商店横入 電話一八八七 旭商會 844

○米墨戰爭と英國

米墨兩國が戰端を開く際英國は米國の利益を圖るべき事を要求せらるゝならんと(紐育電報)

○米國の捕虜釋放要求

華盛頓來電に曰く米國政府は墨國に對しカリザルに於て墨軍の捕虜となれる米國兵を直に釋放すべきを要求し猶駐墨米國軍に關する墨國政府の意嚮に就き陳述書を送らん事を要求したり(紐育電報)

○露軍名譽の勝利

露軍はシエルニワ河に接近しフラレザーに於ける敵の後方二十哩の地點に在るコロメアの鐵道交叉點を威嚇し獨軍と墺軍殘部との連絡を斷絶せしめたり露軍はチエルノウイツチを占領しブコヴイナに於ける名譽の勝利を益々確實ならしめたり敵は急遽カアパシアン山脈に向ひ退却せり獨墺軍右翼は危殆に瀕し敵はトルツクを撤退せる後ルーフの方面に退却し露軍は今や同所より四十哩の距離にあり(露都電報)

○佛軍逆襲塹壕奪還

巴里來電に曰く佛軍は三二一、三二〇高地地方に於て逆襲を行ひレオーモンに達する街道に於て失ひたる地點を回復しフイトミン、シユー森林の中間に於て二十一日夜間に失ひたる塹壕を奪還したるが獨軍はミユーズ河の右岸に六個師團以上の兵を配置せり(倫敦電報)

○露軍奮闘兩地占領

露都來電に曰く露軍は激戰の後キムボランブを占領し敵兵二千名を捕虜とし尚ブコヴイナの占領を完全にしたり(倫敦電報)

○伊軍功績

羅馬來電に曰く伊軍司令官カドルナ將軍は其の參謀幕僚が克く大軍を集中して全戰線に亘り敵軍の攻勢を阻止したるのみならず伊軍をして今や着々逆襲的攻勢を執るに至らしめたるに對し布告を發し其の功績を賞讃せり(倫敦電報)

○獨軍猛襲

巴里來電二十四日夜發表の公報に曰く二十四日ミユーズ河左岸に於ける狀態は靜穩なりし唯三〇四高地の佛軍陣地は間斷なき砲撃を被りたりミユーズ河右岸三二一高地フエルチノールの東北方及びシエイアトウの我が前線は猛烈なる砲撃を受けたりフローリー村落附近にて戰闘繼續し敵軍は家屋數箇所を占領せるが其の他の方面には何等の變化なし(倫敦電報)

○日露協約疑議

外務省にては廿五日露國駐剳本野大使より重要なる長文の電報に接したるを以て石井外相以下會同協議する所ありたるが右は日露新協約の件にて近々調印あるべしと觀測さる(東京電報)

○宮內審議官任命

吉川男の逝去と二條公の辭任とに依り宮內省宗秩寮審議官二名缺員中の所二十六日左の通り任命ありたり(東京特電)

從四位公爵 德川慶久
正四位勳四等男爵 小早川四郎
宗秩寮審議官被仰付

○教育調査會總會

高田文相は教育調査會總裁加藤弘之男の歿後菊池大麓男を物色しつゝありし事は當時文相が二三の人に漏したるが菊池男が大學令特別委員たる關係上今日迄荏苒したるが大學令案の調査は去月二十三日其の會に於て新大學處分案特別委員の手に移されたるを以て最近文相より改めて同男に就任を慫慂したるに承諾したる由なれば近日中に決定發表さるべしと(東京特電)

○日滿連絡貨物(二) 四年度輸送狀況

▲南滿東清線發院線着貨物 本貨物は東清線發のもの僅に四噸に過ぎず他は總て南滿線發貨物にして五月に於ては大豆、肥料(豆粕)の出荷旺盛なりし爲輸送數量一千十六噸を算し三月分肥料の増加により幾分の活況を呈せしも其の他の月は何れも少量の輸送にして前年度に比較するときは一般に減退せる月多し右は滿洲大豆の內地市場に於ける値段不引合の結果出荷著しく減退せるに因るものにして結局本年度輸送數量三千七百廿五噸は前年度に比較し一千八百六十九噸(三割三分)の減少を示せり

▲輸送數量月別比較(單位噸△印減)

	大正三年度	大正四年度	比較增減
四月	七九	四八九	四一〇
五月	三五四	一、〇一六	六六二
六月	三七四	三三二	△四二
七月	五九八	一一四	△四八四
八月	一七五	七六	△九九
九月	五六四	一五〇	△四一四
十月	一四二	四八	△九四
十一月	三三八	九二	△二四六
十二月	二一七	二八七	七〇
一月	二三三	二八五	五二
二月	三二六	一二六	△二〇〇
三月	一、三七三	七〇九	△六六四
合計	五、五九四	三、七二五	△一、八六九

▲主要貨物年別比較(單位噸△印減)

	大正三年度	大正四年度	比較增減
大豆	三、六九五	七二一	△二、九七四
雜穀	八三四	一、〇六一	二二七
肥料	七五二	一、二九九	五四七

▲南滿東清線發局線着貨物 本貨物は東清線發僅に八噸にして他は總て南滿線發に係り其の大部分を占むるものは石炭なるが鮮米相場昂騰の際之が代用品として輸入せる粟亦尠なからず右兩品種の増減は一般貨物の輸送成績を左右するの觀あり即ち石炭、粟の輸入激増に依り一箇月一萬二、三千噸の盛況を續け來たりしも、輸送數量が八月以降右兩品種の減退に依り、漸々小閑の狀態を呈せり十一月以降は鮮米相場の下落に依り粟の輸入殆ど杜絶せしが石炭は著しき増加を示し頽勢を挽回せしと雖も尚て、月以降は十月來の輸送睡眠なりし後を承けたると氣候比較的溫暖なりし爲石炭の減退に依り再び不良の成績を示せり然れ共本年度輸送數量は十三萬三百四十六噸にして前年度に比較し四萬三千三百五十噸(五割)の増加を示せり此は撫順炭が內地炭價の昂騰に際し大に其の販路擴張に努めたると粟、木材、肥料(豆粕)等の輸送何れも好況なりしに依るものとす

▲輸送數量月別比較(單位噸△印減)

	大正三年	大正四年	比較增減
四月	七、〇〇八	一二、三七五	五、三六七
五月	七、一四一	一一、九六一	四、八二〇
六月	四、八三二	一三、二六四	八、四三二
七月	五、六六五	一三、一一五	七、四五〇
八月	五、一五八	九、八八九	四、七三一
九月	六、四四六	八、一九四	一、七四八
十月	七、一六九	一三、三六六	六、一九七
十一月	九、一一一	一一、三三一	二、二二〇
十二月	九、〇〇九	一三、八二三	四、八一四
一月	六、四八九	七、〇九七	六〇八
二月	七、二四九	八、〇八四	八三五
三月	一一、六七八	八、五四七	△三、一三一
合計	八六、九九六	一三〇、三四六	四三、三五〇

▲主要貨物年別比較(單位噸△印減)

	大正三年	大正四年	比較增減
石炭	六八、八〇三	一〇〇、〇五〇	三一、二四七
雜穀	六、七二七	一一、九五五	五、二二八
肥料	一、三三四	一、三五九	二五
木材	六、七六〇	九、二八八	二、五二八

之を要するに歐州戰亂の影響に依り滿洲市場に於ける歐米品著しく減退し之に代るべき本邦品の需要増進せし爲院線發南滿東清線着貨物は南滿東清線發院線着貨物の如き不成績にあらざりしも一面戰亂の影響は前段述べたる如く內地に於ける綿糸布相場及び染工賃の昂騰、滿洲に於ける露支通貨の低落等幾多商狀不振ならしむるものあり加ふるに五月以來滿洲各地は日貨排斥熾烈を極め一時取引杜絶の狀態に陷りたる爲輸送上著しき打撃を蒙り前年度に比較し僅少の増加を示したるに過ぎざりし之に反し同線發南滿東清線着貨物及び南滿東清線發局線着貨物は彼我經濟關係益々緊密となり殊に近時船腹不足船賃昂騰の結果從來海運に依りたるものにして新に鐵道を利用するものを生じ如上の盛況を呈したるものと見る可きなり

●降雨と農作物

左して憂ふるに足らず 中村技師談

過日來の降雨に對する農作物の被害程度に就き中村技師の談に曰く、過般の降雨は忠淸南北以南六道に亘り殊に多量を示し、橋梁其他に多少の損害を免れざりしも、農作物上に於ては今日までは全北管內に止まり殊に其の甚しかりしは臨益北部水利組合區內のみにて之れとて本年は降雨の時期早かりし爲め或は更に本田に直播を爲すことに依り或は一部村分をなすことに依りて相當の收穫を得可くべた春の寒にして不作に僅少なる良作地方ありし模樣なるが尙は機を見て憂するに過日來の降雨が興へたる農作物の損害は之を全鮮より見るときは極めて一部分にして且つ其の程度も甚だ微弱なれば今後の天候にして適順ならむには本年の農作に影響するが如き憂は萬なかるべしと信ず

●全北水害影響

全北地方水害狀況を視察後歸任せし足立東拓殖產課長は曰く今回一週日踏查し來れるが萬頃江流域の水利組合蒙利地東津江附近の扶安古阜萬浦方面並に黃登地方忠南に於て舒川郡の儀若くは鎭入前氾濫を蒙つて少なくも五割以上收穫皆無となり稻作は過半挿秧以前なりし爲め水害豫想程激しからず唯植付終了地は苗腐り等を多少出せしも減水早かりしに付今後の天候により持直すなるべしと考へられしが不幸にして予の歸京の途に就く一兩日前より大雨亦沛然と來り再び全北平野は濁海と化したり今回の雨は前回に比し量に於て多からざるべしとの事なりしも何分再度の氾濫なると前回の出水後挿秧未了地の俄に植附をなしたる等の爲め其の受けたる水害の甚大なるは想像に難からず全北產米の爲め痛恨に堪へざる譯なるが唯聊さか慰さむべきは千田中例年挿秧不能となる土地中用水夥多の爲め植附面積の増加せし事也

◉京城の下水溝設計

‖都市衛生の根本問題‖工費總額百六十萬圓‖六年度より著手‖

土木局長 持地六三郎氏談

京城に下水溝工事の急務を叫ばるゝこと久しく開三年、最近に至りて益々其の必要を高め前號所報の如く總督府土木局も亦同下水溝の必要を認め設計案を起し目下各部に審議中なりと聞き持地土木局長の意見を求めたるに

▲三箇年間の調査 京城の下水溝に就て當土木局は約三箇年間の日子を費して調査を行ひ此頃漸く成案したる次第なり凡そ下水工事なるものには(一)市街の汚水及び雨水を排泄せしむるものと(二)雨水汚水と共に糞尿をも排泄する設備を施すものとの二種あり、土木局に於て最初計畫せるものは前陳の第二の方式に依る雨水汚水は勿論糞尿の類迄郊外に流出せしむる暗渠式下水案にして既に歐米の主要都市に開設され居るものと略酷似し居り唯規模に於て大小の差ありしのみなり然るに少なくも四百五十萬圓の工費を要し如斯工事は未だ內地に於ても行はれず況んや朝鮮の現下の時勢民度と均衡を失するの感あるを以て同案は廢案となりたり

▲工事を二期に分つ 次に起案されたるものは即ち今回成案となり居れる百六十萬圓の第一種開渠式下水溝の設計なり、下水は上水と共に人口の集團せる都市の衛生的有力なる機關たるのみならず半島の首都としての面目を保持せんには必ず著手せんとするものなり、今回の案は都市の發達が未成品たるの時代に於て施工するを得策とし篤蹟を排して工事を二期に分ち先づ第一期に於て七十萬圓を支出し大正六年度より向ふ三箇年間の繼續事業として行ふ可きものなり素より前記の如き工費を到底京城府民の負擔に耐へざるは明なる事實なり故に全工費を二分したる半額を國庫の補助とし他は地方費及府費を以て支辨するに至るべし

▲幹線と砂防工事 同案にして愈々確定せば工事の順序として先づ市街の中部を流るゝ水票橋の大溝を浚渫し茲に京城下水溝の大幹線を設くるものなり、水票橋の大溝は東大門外の末流に於て土砂の停滯を來し居れば此除去と川底の浚渫とのみにても約二十七萬圓を要す可し、更に南北兩方の山嶺より市內に向つて流出する土砂を山間の小谷に砂留工事即ち溪間約三十箇所の要所々々に砂留と稱する小池を設け流出し來る砂は此處にて喰止め水のみを流下せしむる裝置とし尚ほ山脊の露出し居れる箇所には砂防工事を施す筈にて是亦約十萬圓の工費を要すべし總て漸次幹線を設けて在來の下水溝と接續せしめこゝに第一期の工程を終り第二期に入りては在來の下水溝を全部改造し始めて京城下水工事の竣工を見るに至る可きものにて此間前後約七箇年間の日子を費すべし

▲隧道掘鑿の説 總督府にて下水溝設計の議ありと聞くや世間の一説としては水票橋の水流を逆に南へ通じ漢江上流より江水を引用し來らば啻に水運の便を得るのみならず汚物排泄上得策なり且つ都市の美觀を添ゆる點に於ても利益なりとの理想論出で土木局も亦實地に就き調査したるに若し此方法を以てせば漢土幌即ち美術品製作所附近の地點に於て既に五六十尺の落差を生じ麻浦へ隧道を貫通して勾配を取るものとせば此隧道工事のみにて早くも四五百萬圓の工費を要し下水工事と共には六七百萬圓の大工事となり到底不可能なるのみならず洪水の場合に於ける危險も之に伴へば此説は問題とならず從つて落差の水を利用して水力電氣を起せなどの説も勿論實狀に適せず前段述べし如く設計決定せし次第なり

●鯖秋刀魚不漁

東海岸に於ける鯖秋刀魚の漁事は例年昨今が最盛季にて昨年の如きは咸南新浦のみにても百二十萬餘の鯖漁ありしにも本年は雨季の襲來早く昨今雨量多きが爲め近海の鹽分を稀薄ならしめ暖流に乘じて浮遊する魚族は陸地に接近せざるのみならず近來は時化日和多く出漁日數尠き結果近年稀なる不漁に陷り元山市場の如きも鯖、秋刀魚は殆んど排底の狀況にて價格は例年に比し二倍以上を唱へ居れりと

●道路河川補修工事

京城府にては今回の水害によりて生じたる道路河川の補修工事に就て取敢ず應急の修理を加へたるが更に目下設計中なる修理計畫決定せば直ちに工事に著手す可しと

●法院出張所增設

二十六日附左記各地方法院管內に出張所を增設し同時に登記通譯生の增員を行ひたるが增設出張所は土地調査の完了に伴ひ土地登記事務を取扱ふものなり

▲京城地方法院 漣川、議政府、楊州
▲公州地方法院 大川
▲平壤地方法院 江西
▲大邱地方法院 醴泉、聞慶
▲釜山地方法院 宜寧、咸安

◉商議功勞者表彰式

京城商業會議所は二十六日午後六時より朝鮮ホテルに於て舊日本人商業會議所の會頭副會頭及び昨年解散當時に於ける一般議員五十餘名に對する功勞謝授與式を行ふ筈なり、舊會頭副會頭の內所在不明の者一兩名ありて目下調査中なるが故人に對しては其遺族に之を贈ることゝなしたるため潮上眞助氏の如きは其義父の分と共に都合二枚の表彰狀及び記念章を受くることゝなり之と反對に釘本藤次郎梶原末太郎氏等の如き會議所に數年來議員たりし者も表彰に浴せざることゝなれども種々研究の結果今回の如く決定せしものなり、當日は在京長官、松永長官、其他各關係官署の長及び新聞通信社長等十數名の來賓を招待し式後盛宴を張るべし

人事消息

●鐵道局辭令 鐵道局從事員教習所長左の如く變更ありたり
免從事員教習所長 三木武重
任從事員教習所長 志賀信光

▲尹德榮子爵 二十五日夜金村より歸京
▲尹澤榮侯爵 同上
▲柳赫魯氏(忠北道長官) 同夜入京
▲膳江源次郎氏 二十六日朝歸京
▲松井民次郎氏(遞業家) 同上入京
▲木村鮮銀理事 二十七日午前七時三十分著京の豫定
▲遠藤貯金管理所長 二十七日夜發東上の筈
▲橫井副官 二十七日朝咸興發鏡城に向ふ筈
▲龍多龍三郎氏(大阪鐵工所主) 二十六日夜入京天眞樓へ
▲水野勝興氏(銀行員) 同上
▲川井嘉巳氏(代議士) 二十六日夜入京浦尾へ
▲大河內靜氏(平壤慈惠醫院醫官) 入京中の處二十六日夜歸京

▣南言北語▣

一昨年の十月以來先月末日迄に授與された金鵄勳章は二千九百九十三だ相な▲之れで先づ青島攻圍軍の金鵄の分は終了したとの事▲其れから旭日章は五萬五千三百六十二で瑞寶章は三萬七千五百三十二▲一時賜金の分は一萬千七百六十一從軍徽章は全部で十一萬四千七百九である相な▲猶ほ殘つて居るは陸海軍の各元帥大將參謀總長軍令部長等の外關係文武官等の分約四五萬あるとの事▲馬渡やつても之れだから戰爭はめつたにやれない▲今日は妙な數字許りで恐縮するが今年の四月現在の調によると朝鮮酒以外即ち淸酒、濁酒、白酒、味淋、ビール、燒酎、酒精、葡萄酒、其他一切の酒を合して卸賣者の數が四百四十四戸小賣人の數が四千八百二十四戸ある▲其れから各道中平安北道が最も多く卸賣八十戸、小賣人八百八十四戸といふ多數に上り▲京畿道は卸店六十六戸、小賣店七百二十軒で第二位を占めてゐる▲さうすると先づ朝鮮では平北に一番酒飲が多くて次に京畿道となる▲酒と犯罪は關係が多いが平北の犯罪數が少なければ平北の飲酒家は上等の部に屬する譯だね

日韓書房 新版報告

日本百科大辭典 第七卷完成 定價十圓 送料四十八錢
總督府纂 朝鮮林野分布圖 定價三圓 送料十二錢
若林著 海事思想の喚起 海の趣味 定價一圓二十錢 送料十二錢
山崎直方著 我が南洋 定價一圓十錢 送料十錢
村山勝著 平家詩史 定價一圓五十錢 送料十八錢

京城本町二丁目 日韓書房 振替口座一四四 電話二二五

監修 倉橋惣三先生

お母様方に

◎雜誌が子供に取つて、大切なことは申すまでもありませんが、それだけ選擇の必要なことも忘れてはなりません
◎この選擇の任は、是非ともお母様方の役目です、大事なお子さんの爲に、お母様でなくて、誰れにこの役目がつとまりませう。
◎私どもは、母の選擇を俟いで、子供にとんでもない雜誌などが、子供に與へられてゐるのを見て、その不注意に驚くことが屢々あります。
◎子供が雜誌を見てゐる時のその熱心な顏つき、輝く目の光りを御覧なさい。子供が雜誌に對する興味の強さは實に驚くべきものがあるではありませんか
◎一つの繪、一つの言葉が、如何に强い印象を子供の心性の上に與へて行くものであるかは、これによつても分るでせう。
◎『日本幼年』は、教育的に好ましい繪や、言葉のないやうに一語も選んで、一つの繪一つの言葉つかひにも細密に行届いた注意を以て編輯してをります。
◎ですから、知らず知らずの間に子供の心性に與へて行く良感化、好影響は、偉大なものであると信じます。

□七月號 □一冊十二錢 郵稅一錢 □一年分同一圓四十五錢

日本幼年

全國少女緑蔭の友

少女畫報 七月號

□あぢさゐ 池田蕉園筆 □海水浴 島田助芳筆

□失敗!失敗!

歐洲戰爭實記第二十一增刊 世界大戰寫眞畫報

六月十五日發行 金廿八錢 博文館

發行所 東京市京橋區銀座外 東京社 全國書店賣捌

●米墨惻意無し（北京特電）

[illegible]を北京政府に答へたり（上海電報）

●堊の浮船渠（東京特電）

[illegible]

●日露貿易と取引商店 決定せり（東京電報）

[illegible]店舖地の原名を印刷し希望者に分與する由

（一）ペトログラード、ワシリー[illegible]會社ギレ及びシトリフ（二）キーエフ、ペトマトカツ[illegible]

▲石炭 [illegible]

（二）ペトログラード[illegible]デモニー、沃度加里、サントニン其他化學製藥原料[illegible]

栗の花

洋行土産（3）

――直ぐに軍事の機密に――素晴らしい自動車の活動――米國へ渡つた時の心地――ピチバルグの大活動――諸都市を一巡り

遞信府技師 坂田鳴海氏談

倫敦から巴里にも行き佛國の各地方を視察して廻つたが戰時に於ける英佛の旅行は非常に煩瑣で宿泊するにしても出發するにしても面倒な手續が要るので不快と言へば不快である其れに英國だと北方海岸に近づけば殆んど總て海軍に關係のある處許りだし何かと言へば直に軍事の機密に關すると云ふんで滅多な事は出來ない例へば地圖を持出したり望遠鏡で眺めたりする事は

△總て嫌疑の基と 成る始末である其れで成る可く其樣な嫌疑を蒙らない樣にして視察をやつた例のスコットの『湖上の美人』で名高い幽邃な蘇國の湖水地方やグリムスビーの漁港に魚類が山積せられた北海岸地方やを見物したりした佛蘭西の旅行は何面倒だ殊に英國から佛國に渡るドゥヴア、カレーの連絡が非常に厄介である然し是等の事は大抵新聞や雜誌なりで既に幾度と無く詳しく報道されてゐるから今更語るにも及ぶまい何にしろ佛蘭西の地方を歩くにしても殆んど

△何から何迄軍事に 關係があるので餘り自由な視察の出來ない憾みがある例へば海岸であれば大抵は海軍の設備があるし鳥渡した都會があれば其處には大抵一二箇所の工場の無い處はないが其れ等の工場は皆軍器品製造所となつてゐるんだから是れ亦軍機に關する譯だし其れに旅行が右の樣に面倒なので一體に私の佛蘭西に於て感じた事は交通の便の行き届いてる事である鐵道は言ふ迄も無いが自動車の活動が又素晴らしいものである軍人、軍醫、軍需品等の

△輸送が頗る圓滑に 行はれる爲めに貨物停滯の憂ひが無い――話したい事も澤山あるが餘り詳しく語れば直ちに軍機の問題に觸れ相だから英佛あたりの事は大抵にして置いて扨英佛の視察を終りリヴアープールから米國に向け船出したのは三月の上旬で紐育に上陸した米國に上陸して殊に非常に感じた事は如何にも何となく豁然として自由の氣に打たれた樣な氣が溢つてゐる事である

△暗い重い氣分を 起させる歐洲の戰爭の爲めの規則づくめが米國に來ると言ふ迄もない事だが影を止めてゐる然し是れは歐洲から米國に渡つた時の第一印象であるが次第に日を經るに隨つて矢張り騷躁な深みの無い米國特有な氣分が旅人を捉へる米國では北部地方の諸都市を巡廻したが總ての諸都市は正に戰爭の樣に大活動をしてゐる軍器軍需品の製造に忙殺されてゐる否である殊にピッツバルグの大活動は驚く許りである此處は

△世界第一の鐵工場 の所在地として有名だが列車が同市に近づくと一哩位手前から火事場を遠望する樣な火焔が暗黑の空を衝いてゐる次第に列車が市に入つて行くと車窓の左右の煙突や鎔鑛爐の窓口あたりから盛んに火焔を立騰らせてゐるピッチバルグでは資本家も勞働者も非常な金儲けをやつてゐる勞働賃銀など平時の三倍位になつてゐる、けれども未だ不足だと云ふので私の行つた時なども頻りに同盟罷業をやつてゐた――米國の諸都市を一巡してシャートルに來其處から乘船して本月二日に横濱に上陸したのである

●此頃の天候

一雨見ざれば快晴見込なし

南鮮地方は數日來の降雨の爲め諸川氾濫し鐵道道路不通となりたるが降雨に關し京城測候所の談に由れば六月中旬より七月中旬に至る間は例年多雨季にして内地の梅雨の影響を受けると云ふに非ずして年々此の時期に至れば屢次

▲朝鮮海峽に生 する小低氣壓は却つて九州地方を襲ふ事が例なりしが今年は本月廿日頃木浦沖に現れたる低氣壓は漸次陸地に近接し全北平野に上り日本海方面に通過するを例とすれど今年は日本海方面一帶に高氣壓發達し居るを以て低氣壓は此の方面に流過する事能はず

▲全羅慶尚兩道 の間に逦溜し一方又釜山地方にも低氣壓起り當地方は概して連日雨天なりしが此の影響を受けて京城にも折々小降雨ありたり氣象は滿洲朝鮮一帶に曇天にして目下漸次發達しつゝある滿洲方面の

▲低氣壓の通過 し終るまで快晴を見る事は難かるべし而して南鮮の降雨量は二十日より二十六日朝迄には木浦地方及び釜山地方共に二百ミリメートルにして過日の京城に於ける降雨に比してさして豪雨と云ふ程にあらざりしが降雨連日に亙りたる爲め諸河の氾濫を見るに至りたるならん（測候所員談）

●鮮人街の取締

▽鍾路署の飲食店臨檢

京城鍾路警察署管内は主に朝鮮人市街のこととて不正商人等が入込み殆んど飲用に堪へざる汚濁の清涼飲料水を『朝鮮人向き』なりと稱し頗る廉價に賣りつくるものあり鍾路警察署にては管内の飲食店に臨檢し嚴重に取締をなし居れるため逐年不良飲料物を減じ頗る好績を示し居れるが本年は六月十二日より同二十一日迄十日間に亙り取扱ひたるもの洋酒八千五十六個、和酒一千五百六十五箇、清涼飲料水三千百八十三個、鑵詰五千百七十六個其他一千三百二十四個合計一萬九千三百四個の多數に上れり此内廢棄處分に附したるもの一千二百四十三個此見積價格百四圓餘也とす

□巡査補になる迄

▽試驗が通ると寄宿舍生活

◎二十五日午前九時から京城鍾路警察署樓上で京畿道警務部の巡査補採用試驗が行はれた試驗は三日間續く二十五日は最初の日で體格檢査があつた

◎志願者は三百餘名あつた内から身元や素行調査に依つてはねられた殘りの百數十名が全部集まつた譯だ、七分通は京城の者であるが三分は地方の生れで遠く咸鏡北道地方の者も見えた

◎大抵昨年四回の採用試驗を行つてゐるが、今回の者は一般に體格が餘り強壯でないといふ事である、檢査の結果は八十名が甲種合格であつたといふ

◎年齢は二十歳から三十二三歳位迄で此間土地調査局で淘汰された連中や朝鮮步兵隊にあつたもの又は農學校商業學校の卒業生もある、又中には内地に遊學してゐたものもある、何れも日本語の會話には相當に差閊への無いものばかりである

◎斯うして初の日から選り拔かれて學科試驗に移る、學科は、刑法、警察法規、地理歷史、作文、讀書等の簡易なるもの、愈々口述試驗の關門を通過して合格すると三箇月間寄宿舍に入り全く家庭や社會と懸け離れた一定の規律ある生活を送つて他日實際に適應する樣に訓練されるのである

◎嚴格な生活に慣れぬ鮮人には多少苦痛もあるが就職の途としては比較的容易なる爲め毎回志願者が相當に多いといふ

◎愈々教習が濟むで夫々警察署へ分屬され實務に服するやうになると初めて月俸九圓を給與される、其後一年に一圓宛三回の增俸があつて成績優良のものは一週年目には十二圓迄に昇級することになつて居る

●河中に墜落す

京城明治町二丁目牧野雜貨商店員鈴木利次（十九）は二十四日午後八時半頃商用の爲め自轉車にて玉川洞小川の際橋に差し蒐りたる際橋上には多數の鮮人幼兒等遊び居り通行の妨害となり之れを一方に避けんとしたる刹那自轉車諸共に高さ六尺許りの橋上より河中に墜落し兩腕に挫傷し顏面部に擦過傷を負ひ居るを巡回中の警官が救助したり

●道連れは強盜

黃海道平山郡文武面安城里李德基（三）は先頃鳳山郡德在面石橋洞洪戴鳳方にて禹守天なる者と共に飲酒し居合せたる金昌淳の金錢を所持せるを見て之を奪ひ取らんと昧吏に馴々しく道連れとなりて同家を立出で人里離れの山道に差し蒐るや禹守天と協力して金を脅迫し所持金十餘圓を強奪逃走し其筋に捕へられ廿二日平壤地方法院にて懲役十年を言渡されたるが之に服せず控訴したり

●誘拐して賣る

全北任實郡梧川面鳳頭里魚行商李信化（五）は去る四月中同里金東根なるものが誘拐せし全山郡臥山面上湯里揚鳳五の妻張姓女（二）及び同里揚公律の妻宋姓女（十）を自家に隱匿し金と共謀の上同里金太化方に宿泊中の鎭安郡鎭遠面停浦里李永祚を言葉巧みに欺き前記張姓女を同人の妻に取り持ち金六圓を手數料として騙取したる廉により全州法院支廳に於て笞九十に處せらる

●濁流に沒はる

全北益山郡五山面前東里申泓均雇人柳東春（四）は去る十五日午前十時頃前東里南方約三十間なる萬頃江沿岸に於て上流より流れ來る材木を拾得中濁流に卷き込まれ溺死を遂げたり

●隱袋から二百圓

平壤八千代町李泰根方止宿無職吳宗河（三）は去る二十日午前三時頃同町桑垣仙太郎方へ忍入り同家に宿泊中なる平安北道雲川郡邑内面土木受負業桑垣萬年が壁に掛け置きたる洋服の隱袋より二百圓入りの財囊を竊取したるを平壤署の刑事に探知され二十四日李泰根方にて逮捕されたり

●惡少年の處刑

北海道岩内郡岩内町生れ吉田福造（十七）は去月二十九日釜山に上陸せしも旅費に窮したる爲め釜山警察署にて保護を加へ同市長手通り煙草商希臘人トローパス方の店員に世話したるに同人は去る十四日稅金百五十一圓餘を托され府廳に赴く途中惡意を起し該金を拐帶して内地に高飛びせんとせしを捕へられ去る廿二日釜山地方法院にて懲役六箇月に處せられたり

●嫁を斬る

平南江東郡元灘面日原洞李寅燮（三）は其の長男李斗相の妻李氏（三）が附近の黃某と密通せりとの噂を聞き立腹し李氏と口論を始め汝の如き不義者は殺して終ふと鎌を振り上げて斬り付け疾病休業二週間を要する負傷をなさしめたるが二十日平壤地方法院にて殺人未遂として懲役二月に處せられたり

●解雇されて自殺

京城林町古物商李基完方に七年前より雇はれゐたる金東洙（五）は此程解雇されたるが廿五日の夜苛性曹達を多量に服用し廿六日午前六時頃基完方の表戶前に打倒れ苦悶中を附近の者が發見し應急手當を加へたるも遂に絶命したり

●始末に了へぬ男

京城清進洞居住代書事務員趙箕衍（三）は妻子のある身にも拘らず苑南洞金顯九の二女金氏（三）に懸想し去る十日夕刻金氏が鍾路四丁目を一人にて通行中尾行して口說き落さんとせるを折柄通行の内地人に發見され逃走したるが同人は以前にも數回同女に怪しき素振りを示したる事あり此程鍾路署に拘留處分となりたり

●銀行を襲ふ

開城北本町生れの朴熙楨（三）は二十一日京城本町二丁目の某銀行の小使室に忍び入り錢一個を掠め拂ひ本町署に捕へらる

●自殺を企つ

慶北義城郡鳳陽面路里洞居住李氣性の次男李岩宇（三）は去る十三日午後六時頃同郡面桃濟里旅人宿權李大方に赴き家人の隙を窺ひて兼ねて用意しゐたる苛性曹達を水に溶かしたるを服して自殺を企てたるを家人が發見して取り止めんとしたるが同人は容易に肯き入れざるより此旨同地警察署に屆け出で警官現場に出張し漸く取り止めたり同人は元來不具者なるに加へて癲癇病者なるを苦にしたる結果厭世の念を起したるに因るものなり此程本人に對し嚴重將來を說諭し實父に引渡したり

●女を毆る

仁川松峴里四十九番地金德任（十）は本年四月七日午後七時頃仁川花町一丁目李姓女方に於て同居者金文慶を伴ひ他出せんとするに當り李姓女と口論の末同人を毆打し治療二日を要する創傷を負はしめたるが此程被害者より告訴に及びたるより仁川支廳にて笞六十に處せらる

●溺死

京畿道富川郡西串面佳佐里韓昌心長男渡船業韓長福は二十日渡船が流失せんとするを見て之れを防がんとなし誤つて水中に墜落したるが水泳未熟の爲遂に溺死したり

●發賣禁止

『露國』（野澤其者著）長野縣上伊那郡中箕輪村五〇六樋口環發行は治安妨害の廉により發賣頒布を禁ぜらる

●財布を盜む

龍山元町三丁目崔隆熙（十九）は十六日午後三時頃京城本町三丁目自轉車商朴之段方にて十一圓餘入りの財布一個を竊取し本町署に引致さる

巡業日記

▽鎭西山崩歲

門座角力に腕角力　牛が仗つて逃やうか　摸範的親孝行の大關

今日も降りみ降らずみで[illegible]も御免を引いて宿もない。栃木山關なども退屈と見えて遊びに來た。雞取の十八番は將棋位で外に此れと云ふものもない。直ちに小生と二人で將棋盤に向つて始める。運よく小生が五六度續けさまに勝つたら怒つた樣な顏で負つて行つた。十一時頃迄らの降雨に氣を腐らした若い連中も五六人を誘つて

▲登山 する、雨には濡れる道は滑へる處が困難したが頂上に着くと、平地がつて四般に讚で顏れる、見渡せば三方は海、四丸の島嶼も見える。市街は劇合懸く山腹に鮮人の牧場があつた。牛が數匹遊んでゐる中を縫ふて降る時に[illegible]が牛を揆つて逃り樣と言つたが若は贊成しない。若し牛が怒つて追かけて來た時に牛が早いか、人間が早いかなどと下らない事を話しながら下りてくると路傍に一頭の大牛がゐたのでソレと皆が逃げ出して後で大笑ひした。歸つて道に出たのは一時頃。それから鮮人部落に張ると丁度

▲田植 時で諸所に御經のやうな田植歌が聞えて盛んに働いてゐる、言語不通なので道々小供から『チヨゴジヤカミサンバツ』（恐がしいか）など敎はつて、鮮人の後に行つて試みると何れも喜こんでゐる。子供や女は珍らしいやうな恐いやうな風で見てゐたが言葉を掛けると直ちに逃げて行く。やがて市街へ出ると鯛や太刀魚、蛸の干物、餅等を賣つていた。魚市場には鮮人が澤山ゐて妙な踊りをやつてゐたが別に面白くもなかつた。家の中を覗込むでも小綺麗で食事をしていないが彼等は葉の上に飯を包んで味噌を掛けて食つてゐるのには皆驚いた。かくて宿に歸つたのは午後四時頃だつた。晩飯後に照り

▼角力 をやる、宿屋の主人を初め綾鯛、岩戸山、淺瀬山、和島洋、大港、友の浦等外五六名で昔玉の汗を流して闘つたが小生と岩戸山のは勝負を占める又腕角力もやつたが後で皆腕を擦り剝いたり爪傷をつけられ大に弱つてる所へ大錦關九州山等が顏つて來て漸く二人はステツキを食わされた。此處に特筆したいのは一行中の大關大錦の親孝行の事である。此度の巡業に異父な渡船見物に同わされてゐるが、毎日寢食は勿論入浴まで總て共にされ朝夕親の許に行つて其の

▼親切 な心盡しは他の見る眼も羨ましい程の孝道で人間と云ふ者は斯くありたいものと一日に三度も皆な反省する。孝行をしたい時分に親は無しと云ふが斯る美事の例少なくない。若者の角力は絶えず鄕里の念に驅んでゐるが大關の事を話すと仲間の取的共は大關の樣になれば誰でも孝行が出來ると云ふのが常である。本日大錦關は海軍から招かれて角力の話をなしに行つた。（二十四日鎭海にて）

▲活動戰爭 久しく西洋物の大作品を見ざりし京城シネマ界も近來漸く風潮一變し來り過ぎに[illegible]奈翁百日天下を壽座に上場するや間もなく黃金館の名金によつて名乘りを擧ぐるや興味ある大正館も二十八日より大冒險二十五篇全五十卷の大寫眞を上場するに決せり、同寫眞の内容は機を見て記すべきも名金と對抗すべく上場せるものにして第一回は一篇より五篇までとしてそれより引續き毎週十卷宛約一箇月餘を以て完了する筈なり、京城活動界の眼新たな觀ふに至れる現象は注目に値ひすべし

▲壽座 ○ 改良團新派一派の喜劇團々員一行二十七日よりの替り狂言は悔悟二場亂れ咲三場假粧三場にて主なる役割左の如し 柳田國萬兵衛、山中重兵衛、藤崎芳三（京蝶）▲島田國萬太郎、藤田勝吉、古畑貫（機蝶）▲金岡文助、藤田庄太郎、大黒屋金平（浪蝶）▲山中正雄、妻房子（房子）▲藝妓君枝、▲梅田娘お直、丁稚定吉（◯子）▲平嶺お玉（玉尼）

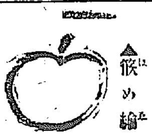
▲浪花館 ○○○ 京山恭福一行の關演會にて開演中なるが關演會として珍らしく毎夜客を呼び居れり

▲黃金館 ○○○ 例の名金にて毎夜滿員の盛況

▲仁川瓢館 ○○ 二十七日より左の如く新寫眞と差替へたり 新派悲劇潮の花三卷△活劇騎士[illegible]三卷▲滑稽アルマーの宙返り▲喜劇猪さん一羊▲實寫京都御水浴の絶景▲泰西活劇紋の綱三卷

讀者文藝（一等には十錢の書籍券を呈す）

▲嵌め繪



○林檎（一等） 京城南大門通 泉水

▲佳作 京城 李長吉、京城 枝川五郎、龍山 鬪政信、京城 今井悴七、京城 横山入道、京城 三谷三郎（先客）、仁川 寄音生

▲次回題 上圖の通り

謎『醫者とかけて』 締切廿五日 發表廿八日
狂歌『角力』 同廿六日 同 廿九日
俗謠『涼み』 同廿七日 同 三十日
川柳『カフェー』 同廿八日 同 一日
物は付『送りたいものは』 同廿九日 同 二日
一口噺『題隨意』 同卅日 同 三日
次回はめ繪 同 二日 同 四日

■募集規程 ▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞品は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事總て一種二句以內の事▲此規程に違はぬものは沒書

ばい毒素人治療（しろうとちりやう） ハガキに病名を記し申込め 内容書秘密封呈 無代送呈
化學上の新智識を簡易の内服藥に應用せしものにして苦痛なく費用を省き、迅速に自宅にて安全經濟に其奏効偉大なる簡便家庭新自療法なり。■黴毒患者は其病名を記し申込め最善の治療法を報導す。
東京市本所向島小梅町六の五七 東京藥化學研究所

帶革各種 パッキング ビッカー 生皮商革 線革組金具 其他工業用品革 品質保證在庫豐富
朝鮮總代理店 鐵商 白神洋行 仁川本町四丁目 定價表一部六錢郵券送呈

●青竹直輸入大販賣 並に石灰特約店
念 釜山材木町一丁目 島末材木問屋 電話[illegible]

無双醇良清酒 無害衛生 品質無双

首藤合名會社吟造
精白米御小賣 キリンビール サッポロビール 醬油甲萬龜 サイダー シトロン 三矢引布 各種
朝鮮發賣元 首藤京城支店 黃金町（電話一七一番）

登錄商標 安住かとり線香
世界各國に輸出し好評嘖々たり
各大博覽會金牌受領
御來客の時お茶菓盆より先づ安住蚊とり線香を燻すことが此頃の大流行
例年の通り景品券附 拾函買へば壹函無代進呈

大阪北區曾根崎田町 安住大藥房 電話[illegible]
到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す

入院隨意 京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通） 酒井婦人病院 電話二六〇番

女鳩

渡邊默禪

(二七) 住江

大河野家の女中頭をしてゐる住江といふのは、舊家臣の娘で相當の敎育をうけた者だつたが、縁づいた先の良人が放蕩をした爲に家庭に紛紜が起つて泣きどふしの慘めな思ひをさせられた果がさう〳〵離婚沙汰になつて生家へ戻つてから、一生獨身で暮すと決心して、郷里を出て舊主の邸に奉公したのであつた。ちやうど鳩子が七つの時だつたから、最う足かけ十三四年になる。容姿はさして優れてゐるといふ譯ではないが、おつとりした柔か味のうちに、どこか犯し難い氣慨のある。凡てに生眞面な。底意地の強い、直覺力に富んでゐるとでもいふのか、一遍遇つた者でも、あれは悳いふ人間だとか、こんな性格だとか批評したとが、大抵は的中する不思議な觀察眼をもつた女だつた。

やつと三十を過ぎたばかりの惜しい色香を何の思ひ出もない孤獨の淋しみに朽ちさせるのは、いかにも傷ましいとだと、亡くなつた鳩子の母なども同情して、再婚してはと勸めたこともあつた。と彼は膠なく首をふつて

『まア可厭なとです、お嫁入なんぞ話に聞きたくもございません。世間の男といふ男は、みんな恐ろしい惡魔ですのに、自分から體を投げ出して、一生涯その惡魔の玩具になつても居られまいぢやございませんか。結婚なんてものは奥樣、あれは女を人身御供に上げる時の儀式でございますよ。世間には女をとつて食ふ狒々が澤山居まして、結婚なんていふ美しい口實の下に餌食を漁つてゐるんです。親はそんなとを知りませんものですから、まア娘も立派な夫を持つて幸福だ。これで一人の口を減らした、厄介者が無くなつたと内々悦んでゐるその裏面には、娘は眞操といふ針線でぐい〳〵縛られて、惡魔の玩具になつて、さうして勝手な眞似をされても如何するともできずに、泣いたり悶れたりした揚句がヒステリーになんかに取つかれて、一生の悶子供や家庭の犠牲になつてじめ〳〵した暗い日蔭で死んで了うんです。結婚といふのは先づ死ない前の葬式ですわね、昔の人がその儀式に、白無垢を著せて綿帽子を冠せて、そして輿にのせて遣つたのが、生きた娘の亡骸を送るといふ意味を表したもんで、面白うございますわ。まア〳〵私しだけは御免を蒙ります。恁うして一生奉公をして、樂々と暮すのが、どんなに幸ひだか知れません』

とこんな氣焔を吐くので手が著けられなかつた。それを聞いた子爵が、

『アハヽヽ、彼女餘程亭主に懲々したと見ゐる。何でも一度男に欺されたり、又は嫁入先で良人に放蕩をされたりして、さん〴〵煩悶した女は誰でも必と怖いふことを言ふさうぢや。男といふものは凡て恐ろしいもの、醜いもの、恥を知らないものゝ慘忍なものと一人で相場を定めて、戰慄して居るらしい。だから異性を憎む反感が同性に對する共愛心になつて、一人でも味方を多くして、互ひに團結し合つて、男に反抗しやうとする。住江も先づその仲間ぢや。今時の新らしい女なんかとは出發點が遮つてゐるだけに、同情すべき悲しい消息がひそんでゐる。まア獨身が宜しいといふなら氣儘せにさしとけ。そのうちには悟る時があるぢやらう』。

笑ひながらこんなとを言ふのであつた。雨うした女だけに自分を守ることが非常に嚴格である如く、他の女中に對しても又たなか〳〵に手嚴しく、ちよつとでも浮いた話をしたり、男の寫眞などを持つてゐたりした者は、容赦なく暇を出すくらゐだつた。で、奥向の風紀がよく保たれたかはりに、女中の不平が絶えなかつた。お孝などは始終衝突した。憎くつて〳〵掴み蒐りたいほどにやきもきしてゐた。機會さへあつたら女中の同盟をつくつて、革命軍の旗擧をしやうと企んでゐた。住江はそれを知らないではなかつた。でもお孝の背後には秀子といふ後援者があるので、うつかり手出しをする譯にもいかなかつた。かくして一年ばかりは双方で睨み合つてゐた。

釣道具新荷著 釣道具 投網 其他漁具一式 御製造小賣商 京城永樂町二丁目 吉備商會 監獄署製品販賣所

パンもよし キャラメルもよし若葉かげ 京城明治町電話二八七〇番 木村屋

◉洗劍亭吟行（下）

探石洞
眉に白う積む石埃暖かき　竹水
石運ぶ女もありぬ雲雀鳴く　同

白佛殿
山迫る小さき御堂や連翹花　竹水

第一師殿
求めぬに堂開けて見す暖かに　山民
堂開くる異形の鍵やいたち草　同

弘智門
堂に立て拜ゐ強ゆる僧麗ら　同
城壁に續く五橋や春の水　容堂

洗劍亭
岩の皺に土懸る草の萌え兒　山民
陽炎や四邊靜かに水騷ぐ　同
に岩憩ふ水音寒しいたち草　同
春風や石に迸る谷の水　容堂
暖かや水泡の舞ふ岩の淀　同

問題　水草生ふ
雨となる水面の雲や藻草生ふ　北星
繼ぎ足せし土橋の下や水草生ふ　青丘
石の上を歩く蟹や水草生ふ　容堂
陽を追ふ息する魚や水草生ふ　山民

細彩暖門を過る
春の山降りる子尼と我等哉　容堂
松深き山に御す春きぬ　同
襲寶の頭髮長し春の町　同

讀者の領分

産婆の事で色々諸君の注意がありますが京城許りでなく龍山の方のもお調べ下さい二箇月に一度又は一箇月に一度位しか姙婦を見て呉れませぬせめて一箇月に三度位は見て頂たいです（龍山姙婦親）▲水原の某菓子店は他店の廢物品を引受け再製して販賣してをる時節柄飲食品の廢物利用は險吞々々甘蕪たるものは衛生上大に注意すべし（神經屋の番頭）▲僕は徹南里日本人と同感者の一人なり犬猫の如きも我子を思はぬ者はなし其れに某紳士の夫人ともある者が我子供が倒れた時にお前が不注意からころぶのだと云ふ事を云ふ丈で小供を起さうともせずに見て居たのは日本夫人として餘り親子の情愛がない樣だ一般の人が眞實の子なれば倒れた時驚きは格別である自分で子供を起し第一番に怪我の有無を問又自分でしらべる怪我がなければ先安心して後今後倒れぬ樣に注意をするのが普通の者のする事の樣に僕は考へる先日からの記事の模樣では其の夫人は繼母でもあつたらう（南山生）▲近頃の仁川水道事務所は些細の事も實行せられて便利だ（專用者）▲此頃は蒸暑いもので夜寢む時開け放しの儘で見つともない樣子が外から見ゐる家が裏屋などには澤山ある衛生上風紀上注意を要する（見太道）

◉仁川奉賛會献金

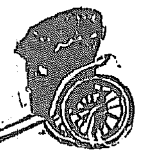
仁川に於ける明治神宮奉賛會献金申込者中五圓以上の口左の如し

▲二十圓宛 美濃谷榮次郎、奥田貞次郎、村谷正夫、慶田利吉、高杉昇、丁致國▲十五圓宛 大平友市、張錫依▲十圓宛 德永與五郎、太田忍、森常吉、飯田茂登雄、武田近次郎、茂木和三郎、福岡利吉、柴田與嘉郎、川添三次、高田常三郎、田中佐七郎、大石季吉、波多野良造、野村嘉一、鄭裲朝、崔應三、小倉柳助、末永省二、松本要五郎、今田棲三、須田六四郎、草刈兵太郎、小川梅藏、中尾猪吉、山口紋太郎▲五圓宛 本非彌之助、今井省三、大咲精七、壽秋長太郎、堤勇吉、矢上丑之輔、馬場卯之助、今井嘉三、高雄貫治、野田戸吉、北浦嘉造、上月鹿藏、沈能德、八阪ゆり、稻田勝彦、沼波石松、佐藤義亨▲三十圓 鈴木俊▲十五圓 川手今吉▲十圓宛 荒木助太郎、倉重俊輔、行賢秀吉、淺松太郎、不二興業會社支店廣澤正次郎、桑野良太郎、今村覺次郎、土居勝、北川鐵二郎、河野リツ、太田與吉、野口文一、増田遊龜四郎、八木與一、安保富藏、川端傳四郎、石崎常次郎、松本治良吉、田中五郎吉、川井田彌二郎、南方竹次郎、佐藤小五郎、吉金喜三郎、光田百太郎、山本喜太郎、廣川房次郎、井上藤吉、北島俗三、増木茂三郎、松田佐市、小畑豊七、松木鶴松、淺井益三、宮田宗二郎、山口又一▲五圓宛 內海淑郎、平賀秀松、森勝治、田中金兵衛、古田信次、德本定一、久野喜太郎

商況

[illegible]

絶對的保證付理想自轉車
グロリヤ式 クリスト號
紳士用 實用 競走用
專賣特許絶體不緩式クランク應用
歴々商賞御買上の榮を忝したる名古屋岡本製作所製品中の逸品にして如何なる惡道を馳驅するも自轉車の最主要部分たるクランクには專賣特許(二五七四一號)及(三三三九四號)絶體不緩式裝置を施し又車體には絶體保險證を付しあるを以て永久に安全に使用し得られ價格又比較的廉價なる眞に理想的良輪とす遞信局御用車として電報配達用に採用せられ今又總督府御用車として上納す
自轉車及附屬品直輸入商
京城本町一丁目 京都 大澤商會京城支店
電話長四八〇番・振替一九三九番


人力車 空氣入タイヤ（燈臺印）
自轉車マツキンレータイヤ（アメA號）
マツキンレーゴム製造所京城一手販賣
各國自轉車 附屬品販賣 及修繕一式
京城黃金町二丁目百廿番地（水標橋通入口）
茨木自轉車商店
電話二九二七番

りん病 ばい毒 專門藥房
吾が社は天下に名の有るりん病ばい毒藥ならば如何なる世界の果にて製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の効力を試驗して居ります、而して自家製藥の改良に努めて居ります、吾が社の藥が常に世界唯一無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、只世界の有りと有らゆる淋病黴毒藥の長所を取つて藥味及び製法に間斷無く改良を加へて行くからであります、吾が社は他の如何なる淋病、梅毒藥とでも効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は本月二日の京城日報御覽、近頃各地に僞ドラッグ續出せり御注意を乞ふ
◉ばい毒藥一週間分普通壹圓武拾錢 特製武圓 りん病藥一週間分普通武圓特製參圓●送料十一錢引換送料廿壹錢
京城南大門外停車場通り
ドラッグ商會鮮本部（浩）
本舖 大阪 合資會社 ドラッグ商會
電話二五六七番 振替東京四六七番

わきが
にて今迄彼是さ藥を用ひ効なき方はファーザー藥價三十錢六十錢を一度お使用あれ御注文は前金の事郵送料不要
京城黃金町三丁目 山田文殊堂藥房

ルーデサック
男用一打 四拾錢上製六拾錢
鐶形特製一個參拾錢 女用一個七拾錢 月經帶一個八拾錢壹圓各種（送料要）
▲花柳病自宅療法 込次第進呈中
京城永樂町二丁目交番北
東京ドラッグ商會滿鮮本部

新荷著 スイツル製 懷中時計
圓周堅牢示針正確價格低廉實用的にして價格の低廉なる事天下無比
十九形 環ニッケル側 一圓九十錢
十七形 同 二圓九十錢
同 （兩蓋） 四圓五十錢
十三形 ニッケル側 [illegible]
同 同 [illegible]
十八形 ラヂユーム入 [illegible]
十一形 同 [illegible]
十六形 金メッキ彫刻兩蓋 [illegible]
十九形 金メッキ赤色 [illegible]
十六形 銀（十年保險） [illegible]
十八形 同 [illegible]
同 十八金 [illegible]
同 時計 [illegible]
十二形 ラヂユーム入 [illegible]
十三形 同 [illegible]
同 同 [illegible]
有は今回新着の商品にて本商會獨り之を有し店に無き所のもの伏して願はくは御來觀御用命の程御願申上候地方遠隔の御方は小包郵便にて御送附可申候御注文に對しては代金引換
時計、寶石、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國直輸入商
本店 京城本町二丁目 電話九七二番 イングレッシー商會

金泉醴泉間自動車發著時間

上り 一番 二番 / 下り 一番 二番
金泉發 前八・〇〇 後二・〇〇
醴泉着 後 [illegible]
尚州發 [illegible]
咸昌發 [illegible]
聞慶發 [illegible]
醴泉發 [illegible]
金泉著 [illegible]
▲小荷物運搬仕り候
金泉鐵居自動車支部 金泉電話四八番

汽船釜山出帆廣告

○立神丸 門司、神戶、大阪行 六月廿七日後五時出帆
○立神丸 元山、淸津、浦鹽行 六月 日後十時出帆
○小倉丸 門司、神戶、大阪行 六月 日後五時出帆
○小倉丸 元山、城津、浦鹽行 六月廿九日後十時出帆
○第三琴平丸 元山、西湖、新浦、城津、淸津行 六月三十日後六時出帆
○第三琴平丸 門司、宇品、神戶、大阪行 六月 日後六時出帆
○天眞丸 佳須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 第六共同丸 六月廿七日後二時 七月一日前九時出
（朝鮮總督府命令航路）
朝鮮鐵道主要驛にて商客並諸輸送回取扱仕候 大連にては青島行定期船便接續貨客共直航船を同航運貨にて通し輸送取扱可仕候
○城津、淸津、浦鹽行（元山出帆） 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行（元山出帆） 第三共同丸 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町一丁目（電話一〇八番） 山下回漕部
元山代理店 春日町（電話二四四七番） 田口回漕部
京城取次店 南大門（電話二三八・二〇二七） 河村運送店

朝鮮郵船出帆

○全羅丸 七月一日 釜山發
○京畿丸 六月 日
○黃海丸 六月 日
○成鏡丸 七月五日
門司より釜山各港經由直航路
○鏡城丸 六月 日
○昌平丸 六月三十日 元山發
○鏡城丸 六月 日
元山より各港經由雄基行
○忠淸丸 六月 日
○平壤丸 七月六日 元山發
城津淸津雄基行浦鹽行復航鬱山より門司又は長崎行
○永興丸 毎月廿八回 元山發
北久崎、五鎭浦行
○盈德丸 六月廿七日 釜山發
甘浦、九龍里、浦項各港經濟島行
○江陵丸 每日 釜山發
○寶城丸 毎日 浦項發
長生浦方魚津寄港
○三浦丸 六月三十日 釜山發
長承浦、麗水、巨文島濟州島各港
○濟州丸 毎日 釜山發
○統營丸
各港經由麗水行
○巨濟丸 ○慶寶丸 一日目ゝ麗水浦行
○順天丸 三日目毎ニ 木浦發
各港經由麗水行、麗水より濟州ニ接續
○公州丸 六月三十日 木浦發
各港經由濟州島行西廻
○公州丸 六月 日 木浦發
南多島海鉾島行（月三回）
○慶興丸 六月 日 木浦發
各港經由濟州島貨物東廻
○宗信丸 六月 日 仁川發
海州經由各港鎭南浦、德洞又は白翎島行
○江原丸 六月 日 仁川發
○肥水丸 六月 日 仁川發
○晋州丸 六月 日 仁川發
各港經由木浦行
○錦江丸 每日午前 仁川發
○南陽丸 江華島、喬桐島、海州行
本社 電話長一五二番一二三一番
京城南大門驛前 朝鮮鐵道會社及社外船に御旅行の方は本社（電話長二七〇番）京城商客取次店 松原運送店
▲小暑西國沿岸各港行航客に對し京城南大門驛にて乘船切符發賣仕候
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二一番二五番 內國通運會社支店 電話七〇八番

大阪商船仁川出帆

○外航所屬航路ノ時ハ五分引ヲ以テ連絡切符發賣仕候
○安東丸 群山、木浦、釜山、門司、神戶大阪行 七月一日後五時出
×大智丸 七月五日
○天智丸 七月八日
○鎭南浦丸 群山、神戶、大阪行 六月廿八日後二時出
×潭州丸 鎭南浦、群山、鄉の浦、長崎行
○木浦丸 木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行 七月四日後二時出
×信濃川丸 七月廿二日
○信濃川丸 南浦、釜山、門司、神戶、大阪行 七月 日
○大智丸 六月廿三日後二時出
○鎭南浦丸 七月廿九日後二時出
×信濃川丸 七月十七日
○大連直行
△日米丸 六月 日正午出帆
○福州丸 群山、神戶、大阪行 七月十二日
×宮島丸 釜山、橫濱行 六月 日後五時出
○福州丸 七月十六日後二時出
○淸津、浦潮行（元山出帆）
△六城津西湖津二寄港 六月廿八日後二時出帆浦潮不寄港
△須磨丸 四日
○宮島丸 七月
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 城津丸 七月七日後四時出
湖北丸 七月九日前六時出
御注意 ○朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候御乘船客には手荷物賃銀送料○無料○印は船客御斷り一時間前御注意

尼崎汽船仁川出帆

○君が代丸 群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 七月六日後四時出帆
○大有丸 六月三十日後四時出帆
○神代丸 七月四日後四時出帆
○秀吉丸 六月 日後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○相模丸 大連、太沽、牛莊行 七月五日正午出帆
○高砂丸 七月十五日正午出帆
○三河丸 七月廿六日正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十番 堀回漕部